

この子を救う。未来を救う。



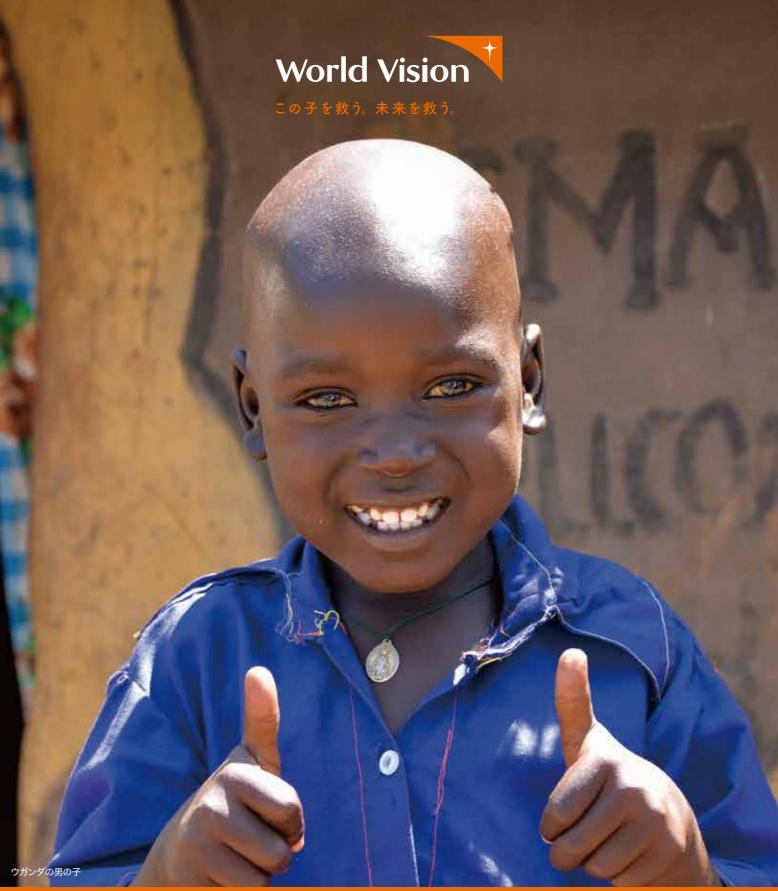
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 2022年度 年次報告書

2023年3月発行

発行 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F TEL:03-5334-5350(代表) FAX:03-5334-5359 HP:www.worldvision.jp

郵便振替 00130-6-254059

当団体は認定NPO法人です。皆さまからのご寄付は寄付金控除等の対象となり、税制優遇措置を受けられます。 本書の一部または全部を無断で複写、転載引用することを固く禁じます。



ワールド・ビジョン・ジャパン2022年度

年次報告書

World Vision Japan Annual Report 2022 2021年10月 — 2022年9月

その笑顔を、守る。 2022年度 年次報告書 目次 私たちはキリスト教精神に基づいて活動します 数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン … 03 企業・団体との連携 2022年度 活動マップ .. 05 広がる支援の輪 私たちは貧しい人々のために献身します チャイルド・スポンサーシップのしくみ …… 07 私たちはすべての人を価値あるものとします チャイルド・スポンサーシップによる事業… 09 ウクライナ危機緊急支援 … 私たちは仕えるものです 募金や他団体との連携による事業 ……… 13 2022年度 会計報告… 私たちはパートナーです 17 2022年度 支援事業一覧 私たちはすぐに対応します アドボカシー …… ワールド・ビジョンについて …… ウクライナの女の子 01 | World Vision Japan Annual Rep

ごあいさつ

日ごろより、ワールド・ビジョン・ジャパンを通じて、世界の子 どもたちをご支援くださり、誠に有難うございます。心からの 感謝を申し上げるとともに、年次報告書をお届けいたします。 2022年度、新型コロナウイルス感染症の影響から立ち 直ろうとしていた世界は、新たな紛争勃発に直面しました。 多くの子どもや女性が故郷を追われ、2022年、世界の難民・ 避難民の数は1億人を突破しました。紛争の影響は世界経済 全体にもおよび、物価高騰は、すでに干ばつ等により危機 的な状況にあった飢餓に一層の拍車をかけ、ぜい弱層の 人々をさらなる貧困へと追い込みました。このような危機が 世界中で拡大し、また長期化する状況において、私たち ワールド・ビジョンもまたグローバルレベルで力を結集し、 最も弱い立場にある子どもたちの命を救う支援を届けて まいりました。ウクライナ危機の対応においては、2~9月末 までに、36万人以上に支援を届けました。活動の基本の支援 プログラムであるチャイルド・スポンサーシップを通じては、 世界全体で320万人の子どもたちを、ワールド・ビジョン・ ジャパンでも、6万777人の子どもたちを支えています。 これもひとえに、皆さまのご支援のおかげと、改めて心より 感謝申し上げます。

ワールド・ビジョンのロゴマークは、新たな未来を切り拓き、 希望の光を届けるという私たちの決意の表れです。これ からも困難を乗り越え、希望の光を最も必要としている 子どもたちに届けてまいります。

今後とも、皆さまの尊いご支援をたまわりますよう、お願い 申し上げます。

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

小西 孝蔵



「地図から踏み出す」。数年前、私たちがこのテーマを定めた 時には、これほどの困難な世界に押し出されることになる とは想像していませんでした。

「Withコロナ」の働き方に私たちも少しずつ慣れ、海外 渡航も再開できるようになり、パンデミックの傷から回復を 目指す現場で再び、世界の同僚とともに活動を進めようと した矢先に、ウクライナで爆音が轟きました。多くの悲しみと 苦しみが生まれ、新たな危機がすでにあった危機に追い 打ちをかけました。貧困、難民、教育、保健、児童労働、 児童婚など様々な開発・人道支援統計が悪化傾向へと 逆転し、最前線の同僚からは深刻な報告が日々届きました。 しかし、そのような状況だからこそ私たちにはすべきことが あり、それを届けることを可能とする皆さまからのご支援 がありました。戦禍を逃れてきた子どもに一時の安心を、 避難民の方々に暮らしを取り戻す希望を、働くため学びを 中断せざるをえなかった若者に復学の機会を、お父さんに 娘に早すぎる結婚を強いる以外の選択肢を、お母さんに 我が子の命と健康を守る知識を届けることができました。 逆境の時にあって、2022年度、ワールド・ビジョン・ジャパン は、かつてない規模のご支援をお預かりしました。新たに 取り組む、日本の弱い立場にある子どもたちへの支援にも 多くのご寄付をたまわりました。皆さまのご信頼に、心から 感謝いたします。

地図から踏み出す先に待つ世界の子どもたちが、豊かな いのちを生きられる平和な世界を築くべく、ともに歩んでくだ さる皆さまに支えていただき、これからも前進してまいります。

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン





ビジョン・ステートメント

私たちのビジョンは、 すべての子どもに豊かないのちを 私たちの祈りは、

すべての人の心にこのビジョンを実現する意志を

Our Vision for every child, life in all its fullness Our Prayer for every heart, the will to make it so

ミッション・ステートメント

ワールド・ビジョンはキリスト教精神に基づく 国際的なパートナーであり、イエス・キリストにならい、 貧しく抑圧された人々とともに働き、人々の変革と、 正義を追求し、平和な社会の実現を目指します。 私たちは、このミッション実現のために、

総合的かつ全体的な方法で、右の働きを行います。

- ●変革をもたらす開発
- ●緊急人道支援
- ●正義の追求
- ●教会とのパートナーシップ
- ●情報提供
- ●スタッフの生活、行動等を 通したミッション・ステート メントの実践

数字で見る開発援助

ワールド・ビジョン・ジャパン

ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の活動は、「開発援助(チャイルド・スポンサーシップ等)」、「緊急人道支援」、「アドボカシー(市民社会や政府への働きかけ)」の3本柱です。ここでは、世界で活動するWVJの2022年度の活動概要を、数字でご紹介します。

緊急 人道支援 アドボカシー

活動国·事業数

総事業数

37カ国で185事業※

開発援助 事業数

22カ国で99事業

うち、チャイルド・スポンサーシップ事業数 18カ国で49事業

緊急人道支援 事業数

23カ国で86事業※

※国内災害・子ども支援事業含む

資金の集め方

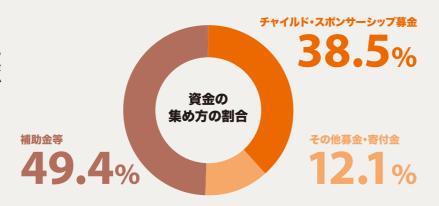
2022年度の経常収益

詳しい会計報告はP24をご覧ください。

85億3,165万円

資金の集め方とその割合

WVJに寄せられる資金の約4割は、 チャイルド・スポンサーシップによるも のです。その他、水と食糧のための募金 や難民支援募金、国際機関や政府等か らの補助金によって活動しています。





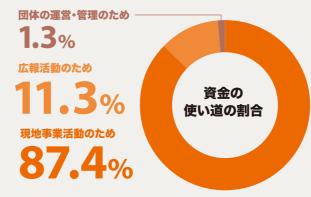
資金の使い方

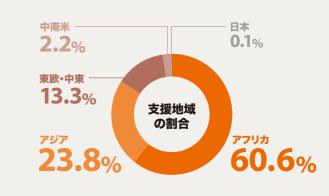
2022年度の経常費用

詳しい会計報告はP24をご覧ください。

85億1,734万円







World Vision Japan Annual Report 2022 04

ワールド・ビジョン・ジャパンは

世界37カ国で185の事業を

すべては子どもたちのために。ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ) は、チャイルド・スポンサーシップ等による開発援助、緊急人道支援、アドボカシーを活動の3本柱として、2022年度は世界37カ国で 185の事業を実施しました。



各国駐在スタッフ(2022年度)

2015/3~ ヨルダン 2019/9~ 2019/11~ タンザニア 2019/12~ カンボジア 2021/2~ 吉川 剛史 バングラデシュ 2021/6~2022/6 小園 若菜美 ベトナム

アフリカ



チャイルド・スポンサーシップで支援する 小学校にて。子どもたちと望月スタッフ



支援により栄養価の高いさつまいもを栽培 している農家(タンザニア)



ミシンの支援と縫製研修を受けて収入を得られる ようになった女性。今では自信と将来への希望を 持てるようになりました(コンゴ民主共和国のトヨタAP)



出生証明書を手にする子どもたち。 教育を受け、保護される権利を得ました

東欧•中東



ウクライナ危機に迅速に対応し、チャイルド・ フレンドリー・スペース(子どもが安心、安全に 過ごせる場所)を提供しました(ルーマニア)



支援を通してトイレを設置した家庭の女性 と服部スタッフ(左/ヨルダン)

アジア



支援で開催した読書キャンプで学ぶ子ども たちと李スタッフ(中央/カンボジア)



人身取引予防の研修を受講している 女性グループの様子(ベトナム)



正しい手洗いを学ぶ子どもたち



読書と勉強への意欲を高めるために開催 した読書キャンプ。参加した子どもたちと 宮内スタッフ(右端/ラオス)

ロヒンギャ難民キャンプ内での心理社会的 サポート・セッションに参加する西島スタッフ (右から3番目/バングラデシュ)

中南米



チャイルド・スポンサーシップの支援でモル モットを育てるビジネスを始めることができ ました(エクアドルのコルタAP)



新型コロナウイルス感染症・衛生に関する 研修の様子(南スーダン)

WVJが事業を実施している国

アフリカ

コンゴ民主共和国 チャド エスワティニ(スワジランド) エチオピア

ケニア モザンビーク 南スーダン ルワンダ スーダン ソマリア タンザニア ウガンダ

東欧•中東

アフガニスタン ジョージア イラク ヨルダン レバノン モルドバ ルーマニア シリア ウクライナ

アジア —

バングラデシュ インド ラオス ミャンマー フィリピン ベトナム

カンボジア

モンゴル

ネパール

スリランカ

日本

インドネシア

中南米 ——

エクアドル エルサルバドル ホンジュラス



国内

助成を行った「エプロン若菜」での弁当配布

※AP(Area Program)とは、チャイルド・スポンサーシップによる地域開発プログラムを意味しています。詳しくはP7-12参照。

※AP=Area Program(チャイルド・スポンサーシップによる地域開発プログラム)



地域とともに歩みながら、子どもの 健やかな成長を実現していくプログラム

チャイルド・スポンサーシップによる支援は、一人の子どもだけを対象にした お金や物を提供する支援ではありません。そこに住む子どもたちが健やか に成長できる持続可能な環境を整えていけるよう、支援地域の人々ととも に水衛生、保健・栄養、教育、生計向上、子どもの保護等の地域の課題に 取り組みます。活動の成果を地域の人々自身が将来にわたって維持し、 さらに発展できるように、人材や住民組織の育成にも力を入れています。



地域で保健サービスを提供できる 人材を育成し、子どもの病気予防 や栄養状態の改善、妊産婦のケア 等の啓発・トレーニングを行いま す。また、保健施設や備品の整備 等も行います。



「娘はひどい栄養不良でしたが、栄養に関するプログラム に参加し、子育てや食事について学びました。3カ月後に は娘の栄養状態はよくなり、今では健康に育っています」 (ベトナムのダバックAP)



子どもたちの家族がより安定して 収入を得られるように、畜産・農業 支援、職業訓練、貯蓄・融資組合 の活動支援等、地域の特性をい かした活動を行います。



「生計向上プロジェクトで始めた家庭菜園で収穫した 野菜を市場で売り、収入が向上しました」 (バングラデシュのイスラムプールAP)





地域のリーダーや保護者を対象と した啓発活動を実施。教育の重要 性を伝え、子どもたちが教育を受け られるよう働きかけます。また、教育 施設・備品の整備や、教師へのト レーニングを行います。



読書キャンプに参加した子どもたち (ネパールのバジャンAP)



飲めるようになります

安全な水の確保は、子どもたちの病気 を防ぐために欠かせません。井戸や 貯水タンクを設置するほか、トイレの 整備を行います。



「ワールド・ビジョンは、私たちに正しい手の洗い方を、 楽しく教えてくれました。病気にならないように、 ちゃんと手を洗います」(ウガンダのキルヤンガAP)



子どもの保護

子どもの健やかな成長を 支えます

子どもを虐待や労働・搾取等の暴力 から保護し、すべての子どもの権利 が守られ個性が尊重されるよう、 地域のリーダーや保護者、子どもた ちを対象にした啓発・トレーニング 等を行います。



「ワールド・ビジョンは楽しいゲームを通して、 子どもの権利と義務を私たちに教えてくれます」 (エクアドルのプンガラAP)

チャイルド・スポンサーシップの

チャイルド・スポンサーシップの支援期間は、約15年。 地域の人々が、支援終了後も子どもたちを健康に 育て、学校に通わせ、自分たちで問題を解決できる ようになることを目指しています。

準備

地域の人々や行政関係 者との関係構築、支援 ニーズの調査、事業計画 策定を行います。

それぞれの支援地域のニーズに合わせして、水衛生、保健・栄養、教育、生計向上、 子どもの保護等の活動を行います。事業計画に基づき、評価や見直しをしな がら進めます。

実施中の地域開発プログラム(AP)

キルヤンガ、ロバランギット・カレンガ(ウガンダ)、 ゴンダール・ズリア、デラ(エチオピア)、イララマタク、 キアムボゴコ(ケニア)、カンボブ、トヨタ(コンゴ民主 共和国)、ゲゲ、シェウラ(エスワティニ(スワジランド))、 ゴロワ、ムキンガ、ムゲラ、ルテンデ(タンザニア)、キラ ムルジ、グウィザ、ニャガタレ(ルワンダ)

活動が進みます

カンドゥクール、キラユ、サイダペット、デオガル、プドゥコッタイ、シュラバスティ、サーガル (インド)、トモ・プオ、ボレイ・チュルサール(カンボジア)、リディマリヤッダ(スリランカ)、 西ドティ、バジャン(ネパール)、イスラムプール、ビルゴンジ、ビロル、フルバリア(バングラ デシュ)、サマール、レイテ(フィリピン)、ダバック、トアンザオ、ムオンチャ(ベトナム)、 カンディタン、タバウン(ミャンマー)

これまでに育成した人材・住民 組織が、いよいよ自分たちで活 動を継続できるよう準備します。

コルタ. プンガラ

サンアグスティン、

ティエラ・ヌエバ

(エルサルバドル)

(エクアドル)、

2022年度に卒業した

活動が継続されます。

すべての子どもたちが「豊かないのち」

を生きられるよう、地域の人々によって

地域開発プログラム(AP)

バヤン・ウルギー、ハイラアスト(モンゴル)、 チャンエン(ベトナム)

07 | World Vision Japan Annual Report 2022



開発 チャイルド・スポンサーシップ

支援卒業報告

ハイラアスト地域開発プログラム(モンゴル)

支援期間 2005年~2022年



急激な都市化が招いたインフラや公的サービスの不足、貧困問題

首都ウランバートルの北部にあるハイラアスト地域は、1991年の社会主義体制 崩壊後、働く機会を求めて地方から移住してきた貧しい世帯が多く住んでいます。 国の人口約300万人の半数近くが暮らす首都周辺には、このような貧困地域が 広がり、急激な都市化の一方、インフラや公的サービスの整備は追いつかず、 深刻な大気汚染、不衛生な環境や貧困といった問題も山積。零下40度にもなる 厳冬期には、貧しい人々の生命が危険にさらされることもあります。都市部のため モノや情報へのアクセスが容易な反面、それが原因の犯罪も絶えません。







仕事を求め移住した人々の簡素な家が

飲料水を求め給水所に水を汲みに行く

実施した支援の概要と成果

地域に寄り添い続けた17年間で子どもが安全に暮らせる環境に変化



支援地域では人口急増によって教育施設や設備が整わず、教員は 行政の資金不足から必要な研修を受講できない状況でした。また 貧困や失業などの問題を抱える家庭では、子どもの教育は重要視 されていませんでした。そこで、学校や幼稚園の設備改修や備品の 提供、教員への教授法の研修などを実施しました。この結果、多くの 子どもたちが、より良い環境で学習を続けられるようになっています。 整備された学校で読書を楽しむ子どもたち





生計向上

移住世帯は適切な転居手続きをしておらず仕事に就けない場合が少 なくありません。また、十分な教育を受けていない働き手も多く、生計を 立てる方法や知識の不足は、家計を苦しくする一因でした。そこで、基礎 的なビジネススキルの研修、職業訓練と必要な用具の供給などを通じ、 収入を得るための基盤づくりを支援。2020~2021年は新型コロナ ウイルス感染症の緊急支援を実施し、生計の立て直しを支えました。



🗰 保健・栄養、衛生

保健施設の設備不足や保健スタッフの意識の低さから、地域には 健康に関する正しい知識が定着していませんでした。手洗いなど衛生 習慣も根付かず、ごみの不適切な処理なども多く、病気がまん延する 状況でした。そこで、学校のトイレや保健施設を整備し、衛生環境を 改善するための啓発活動を実施した結果、関係者・利用者の双方 が課題を特定し、解決のための活動計画を策定・実行できました。



子どもの保護

支援地域の家庭や教育現場では好ましくないしつけが行われ、子ども たち自身も、被害にあった時の対処法を知りませんでした。そこで保護者 には、暴力・体罰による成長への悪影響を周知する啓発活動を、一方、 子どもたちには、自身の保護や権利について考え、発信する場を設けま した。子どもの権利や安全が侵害された場合に相談・通報する手段の 確認に取り組んだ結果、家庭も地域も安全な場所へと変化しました。



子どもに必要な 就学前教育を ものを家計から 受けた子ども 用意できる世帯 2017年 2015年 2021年 21.5% 55.3% **68.4**% **79.1**% 「子どもへの暴力を 正しい手洗い方法を 目撃したら通報する」 実践している保護者 と答えた保護者



支援を受けたチャイルドの声 アリウンズルさん (21歳)

6歳から支援を受けていました。 おかげで、無事に大学を卒業し、今では会社員と して、母と妹の生活を支えることができています。 いつも私を信頼し、サポートしてくれる人たちが いる一そう思えることで、困難の中でも、きっと 未来は明るいのだと希望を持ち続けることができ ました。親愛なるスポンサーの皆さま、私たちの 人生に多くの素晴らしい機会を与えてくださって、 本当にありがとうございます。

2013年 2017年

2022年度は3つの地域開発プログラムが卒業(支援終了)を 迎えました。そのうちの2つの地域での成果をご紹介します。

支援卒業報告

チャンエン地域開発プログラム(ベトナム)

支援期間 2007年~2022年



山岳地帯の悪路が教育、保健、情報へのアクセスの障壁に

チャンエン地域は、首都のハノイから北西へ180キロ、車で約4時間の山岳 地帯に位置しています。支援地域では道路の状態が悪く、これが原因で、教育や 保健施設の整備、情報の普及が遅れています。このため、栄養や健康面で問題 を抱える子どもが少なくありませんでした。人々の多くは農林・畜産業で生計を 立てており、主な作物は米、とうもろこし、キャッサバ、ピーナッツ、たけのこなど です。地域には大小の河川があり、4~10月の雨期には鉄砲水や十砂崩れの 被害が多発します。





ゴミが散乱する水路の水が病気の原因に

実施した支援の概要と成果

15年間の支援で子どもの健やかな成長を支える地域に



生計向上

教育施設の設備が不十分で、衛生設備や教材が不足していました。 また、就学前教育の現場では知識のある教員が少ないことも課題でした。 そこで、学校の修繕、設備や必要な備品を支援しました。今では就学前 教育が充実し、多くの子どもたちが学校生活に必要なスキルを身につけ、 その後の就学・学習状況が向上しています。また、子ども中心の教育方法 を教員が学び、日々の授業に取り入れることで教育の質も改善しました。 衛生的に食器や調理器具などを管理しています





地域住民のほとんどが従事する農業は、昔ながらの農法のため収入が不安定 でした。そこで、品種改良や技術指導により収穫高を増やし、市場で販売 するための研修を実施して収入の向上を目指すとともに、他の収入源として 家畜の飼育も支援しました。また、家計管理の研修や貯蓄グループの設置を 涌じて、地域で資金を融涌できる仕組みを導入。コロナ禍でも、多くの世帯

が貯蓄グループから融資を受け、影響を最小限にすることができています。 新しい農法で米の収穫高が増えました

🗭 保健・栄養、衛生

地域では、5歳未満児の栄養不良の割合が郡の平均より高く、不衛生 な水が原因の感染症の流行も頻発していました。また保健スタッフ の知識・技術不足によって、保健サービスも十分ではありませんで した。しかし保護者への啓発や研修を行う栄養クラブでの活動や、 保健ボランティアと幼稚園教員を対象にした、乳幼児のための食事 指導などの結果、子どもたちの栄養状態を改善することができました。 幼稚園に設置された水道で手を洗う子どもたち



子どもの保護

地域では、子どもの保護や権利について認識が低いこと、山間部のため安全 に游べる場所が少なく、事故やケガが頻発していたことが課題でした。支援 で子どものために運動場の整備、危険から身を守る方法を学ぶ研修を実施 しました。また保護者にも、体罰・暴力が与える悪影響について伝えました。 この結果、今では子どもを守り育てるための活動計画を住人が主体的に策定 し、実施しています。計画には子どもたちの意見も反映することができました。 子どもへの暴力撤廃について発表する男の子



良い成績を 貯蓄グループに 修めた生徒 参加した人 2017年 2021年 94.8% 336人 「両親と良い関係にある と答えた子ども 2020年 2021年 2009年 2018年 12.4% 26.3% 44.2%

支援を受けた住民の声 ヒエン・フウン・ティエンさん

皆さまのご支援によって、

困難な状況で学校生活を続けることが難しかった 子どもたちに、授業料や給食費の支援、家庭訪問 を通じたさまざまなサポートを届けることができま した。この素晴らしい取り組みができたのは、これ まで私たちを支えてくださったスポンサーの皆さま の、尊いご支援のおかげです。これからも私たち は、子どもたちの安全と人々の暮らしを守るための 活動を続けていきます。ありがとうございました。



チャイルド・スポンサーシップ 49の地 域開発プログラムを世界中で継続しています。そのうち3つの地域での成果をご紹介します。

カンボジアからの報告

ボレイ・チュルサール地域開発プログラム

支援期間 2011年~2027年



支援の背景

子どもの健やかな成長を阻む 家庭内外の暴力

ボレイ・チュルサール地域は、首都プノン ペンの南側に位置し、車で2時間半ほど の距離にあります。住民は主に農業や 小規模の畜産で生計を立てていますが、 貧困世帯が多く、家庭内外における暴力 や子どもへのケア不足等、子どもが安心 して過ごせる環境の整備が課題でした。



2022年度の主な成果



教師に図書館運用に関する研修を実施。その結果、 2,400人以上の児童が定期的に読書し、読み書きの補習を 受けられるようになりました。また、多くの学校で楽しく着実 に学べる環境が整いました。 図書館で楽しく本を読む子どもたち



子どもの保護

警察、行政関係者と連携し子どもの保護グループを設立する とともに、保護者に肯定的なしつけに関する研修を実施した 結果、住民間で子どもの権利や心身の健やかな成長に関する 子どもを大切にする関係性を学んだ家族



「学校でも自宅でも勉強に集中できて、とても嬉しいです。 友達や兄弟にも読み書きを教えてあげています」 ソケンくん(8歳/中央)と家族

ルワンダからの報告

グウィザ地域開発プログラム

支援期間 2009年~2026年



支援の背景

不衛生な水を汲みに行くのは 女性や子どもたちの役割

首都キガリから車で1.5時間ほどの距離 にあるグウィザ地域。大きな湖に隣接し ているものの安全な飲み水の確保が 困難で、人々の健康に悪影響を及ぼす 状況でした。また丘陵地帯のため坂道 が多く、水汲みの役割を担う女性や子 どもたちの大きな負担になっていました。



子どもの保護について学ぶ地域の人々

2022年度の主な成果

③ 生計向上

限られた水での栽培や土壌を守る持続的な農法を 学び、農業資源を守りつつ、収入を得ています。また、 小規模農家を組織化し、協働による生産性向上に 取り組んでいます。 野菜の収穫を喜ぶ人々



小学校に手洗い場を設置。手洗いの研修を行い 8.000人以上の児童が石鹸で手を洗えるようになりま した。また、病気の感染拡大防止のためにトイレ建設 の啓発活動も行いました。 石鹸を使って手を洗う子どもたち





支援地域からの声

「読書キャンプに参加したおかげで、読み書きができるよう になりました。今では学校の成績も良くなりました!」 読書キャンプに参加する子どもたち

エクアドルからの報告

プンガラ地域開発プログラム

支援期間 2007年~2027年

支援の背景

子どもたちの未来を蝕む 貧困、薬物、暴力の問題

標高3,000m以上の山岳地帯にある町、 プンガラとリクト。先住民が住民の9割 を占め、貧富格差が大きいエクアドルの 中でも特に貧しい地域です。電気、上下 水道、教育・保健施設等のインフラが 整わず、貧困に加え、薬物・アルコール 依存や家庭内暴力も大きな問題でした。



2022年度の主な成果

Ѿ 子どもの保護

親・保護者160人を対象に肯定的なしつけに関する ワークショップを開催。子どもたちの自尊心を守り、 高めながら養育する方法を学び合いました。

「肯定的なしつけ」に関するワークショップに参加するお父さん



識字能力向上のために、教材の配布、教授方法を学ぶ 教師対象の研修、家庭での読み聞かせの普及など積極 的に活動。また計算能力の向上にも取り組みました。

学習成果を誇らしげに発表する子どもたち





支援地域からの声

「ワールド・ビジョンの活動に参加して父は大きく変わりました。 僕たちの面倒をよく見てくれ、地域のリーダーも務めています。 とても嬉しいし、誇らしいです」 ファブリシオくん(10歳/右から2人目)



タンザニア支援地域をバーチャルツアー形式で 楽しむオンラインイベントを開催

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行を受け、ワールド・ビジョン・ジャパンでは、チャイルドを訪問し、支援地を視察する「支援 地訪問ツアー」を見合わせています。それでも、チャイルド・スポンサーの皆さまに、現地の子どもたちや人々の様子をお伝えしたい、 という思いから2021年11月にオンラインのバーチャルツアーイベントを実施。チャイルドとのつながりを実感していただきました。

子どもたちが飛び跳ねながら元気に歓迎

11月4日、18日に開催したイベントには、のべ453 人の視聴者が参加。タンザニア駐在のスタッフが 案内するムキンガ支援地域を巡るバーチャルツアー を楽しんでいただきました。チャイルド・スポンサー シップの支援によって整備された学校の施設や、 そこで学ぶ子どもたちの様子など、皆さまのご支援が 子どもたちの健やかな成長と地域の改善に役立っ ていると感じていただけるイベントとなりました。



飛び跳ねながら歓迎してくれました



支援地域の小学校に通う子どもたち。みんなで 学校の案内をしてくれたハッサンくん。チャイルド・ スポンサーシップの支援を受けています

11 World Vision Japan Annual Report 2022

募金や他団体との連携による事業

皆さまからの募金や日本政府からの補助金、他団体との連携 紛争、災害や危機の中にある子どもたちや人々へ迅速に支援

による事業を実施しています。

※ 子どもの保護

ミャンマー、バングラデシュ、エチオピア、南スーダン、スーダン、 コンゴ民主共和国、アフガニスタン、シリア

> 機 関 外務省 日本NGO連携無償資金協力 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム(JPF) 国連児童基金(UNICEF)/国連人道問題調整事務所(UNOCHA)

皆さまからの募金額

■児童保護募金 ・・・・・・・・ 4,561,869円 ■危機にある子どもたちのための募金 … 44,811,648円 25,426,213円 ■誕生日記念墓金 ………… ■コミュニティ・サポーター … 83,710,000円 ■プロジェクト・サポーター・ 44,192,500円

■ミャンマー難民危機緊急支援募金 … 888,500円

バングラデシュからの報告

ミャンマー避難民キャンプ及びホストコミュニティにおけるジェンダーに基づく暴力(GBV)からの保護とコミュニティのGBV防止・対応能力強化事業

支援の背景

避難生活の長期化に 比例して問題も増加

ロヒンギャ難民は、様々な問題を抱えて います。長期化する避難民キャンプでの 生活による不安や苛立ちは、時に暴力と して女性や子どもに向けられ、家庭内暴力 は増加傾向に。文化的に女性の外出は 制限され、問題を他者と共有し支援 サービスを受けることが困難です。新型 コロナウイルス感染症対策の外出規制は この状況に拍車をかけました。児童婚や 人身取引などの犯罪も後を絶ちません。



数値で見る成果

啓発セッション・研修の参加者数 (男女、キャンペーン参加者含む)

街灯設置数

ジェンダーに基づく暴力の軽減策として設置 (ホストコミュニティを含む)

10基

ジェンダーに基づく暴力を目にした時に サポートを提供できると回答した 男性・男子・宗教リーダーの割合

女性と女子の権利を守り 尊厳を回復するための支援を継続

2022年度の主な成果

ジェンダーに基づく不平等の解消を目指しています

避難民キャンプに設置した「女性と女子のセーフスペース」において、女性、女子の心の安定と 自尊心の回復を目指す裁縫や呼吸法の教室などを開催するとともに、被害者(サバイバー) のためにケースマネジメントを提供、支援を行いました。また、情報が行き届いていない地区 ではジェンダーに基づく暴力の予防と対応策について啓発セッションを開き、女性・女子 768人が参加しました。加えて、男性、男子、コミュニティ・リーダーや宗教リーダーを対象と した啓発活動では、参加をきっかけに、娘の早婚を取りやめた男性もいます。さらに隣接する バングラデシュのコミュニティにおいても啓発活動を行い、政府関係者および警察への オリエンテーションを通じ、コミュニティ全体の暴力の予防と対応能力の強化を図りました。

支援地域からの声

裁縫をしている時はつらい思い出を忘れることができます

生きるために故郷を離れ、悪夢のような旅路の果てに避難民キャンプに たどり着きました。以前から裁縫には興味があったので、ワールド・ビジョン の裁縫教室のことを聞いてすぐに参加しました。おかげで、ロヒンギャの 伝統衣装や女性と子どもの服を仕立てられるようになりました。裁縫を している時は、つらい思い出を忘れることができます。



難民•国内避難民支援

事業実施国 フィリピン、南スーダン、スーダン、ウガンダ、コンゴ民主共和国、ホンジュラス、アフガニ スタン、イラク、レバノン、シリア、ヨルダン、ウクライナ、ルーマニア、モルドバ、ジョージア

連 携 機 関 外務省 日本NGO連携無償資金協力/特定非営利活動法人ジャパン・プラット フォーム(JPF)/国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)/国連人道問題 調整事務所(UNOCHA)/教育を後回しにはできない(ECW:Education Cannot Wait)基金

皆さまからの募金額

■夏期募金 38,000円 ■難民支援募金・ 145,092,487円 **■**コミュニティ・サポーター・ 83,710,000円 ■プロジェクト・サポーター 44,192,500円 ■プロジェクト・サポーター(難民支援)… 29,041,000円 ■緊急援助募金 9,112,520円 ■シリア緊急支援募金 1,099,090円 ■ウクライナ危機緊急支援募金 ··· 100,608,823円

※ウクライナ危機緊急支援についてはP23をご覧ください

シリアからの報告

シリアにおける新型コロナウイルス感染予防対策と水衛生事業

支援の背景

劣悪な環境の中、 安全な水の確保が急務

2011年から続くシリア危機。シリア 北西部には国内避難民を含む440万人 (2021年11月時点)が、散発的な空爆 が続く劣悪な環境下で暮らしていま す。紛争破壊、経済破綻、新型コロナ ウイルス感染症、および食料危機、 ウクライナ危機等の影響から支援は 減少。人々の困窮度は深刻化していま す。安全な水を入手できず、衛生環境は 悪化、感染症予防対策も進まず、多く の命が危険にさらされています。



数値で見る成果

安全な水の供給 **21,936**_A

日常生活・感染予防に必要な 衛生用品の配布

感染症予防啓発活動 **4.667**人



避難民の命を守る 水衛生サービスを整備

2022年度の主な成果

感染症予防の啓発にも取り組んでいます

避難民キャンプで暮らす人々に、安全な水や衛生用品の提供、ゴミ収集、共同トイレの整備・ 維持管理など、基礎的な水衛生サービスを提供しました。また、新型コロナウイルス感染症に 加え、コレラの感染拡大リスクが迫っていたため、感染予防の啓発にも取り組みました。避難先 の土地問題で突然住まいを追われたり、テントも大雪の影響で崩壊するなど、過酷な環境で 生活している人々からは、支援によって「家計への負担が軽減され、気持ちが前向きになった」 「不衛生な環境が原因で蔓延する感染症にかかることが減った」「感染症対策の知識を得て 健康意識に気持ちが向かった」等の言葉が寄せられており、人々の命と健康を守る支援と なっています。

感染症予防を学び、安心して勉強が続けられます

私には、美しかった故郷を再建するという夢があります。そのために学校で 勉強を続けています。新型コロナウイルス感染症がこの地域に広がり始め た時、学校が閉鎖され、自分の夢が実現できないという不安から、テント から出られなくなりました。でも、支援で感染症予防の方法を教わってから、 今では学校に戻ることができ、さらに一生懸命学んでいます。



予防啓発活動に参加するナディアさん(仮名 (右から2人目)

點水•食糧支援

ミャンマー、バングラデシュ、エチオピア、ルワンダ、ソマリア、南スーダン、 スーダン、タンザニア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、エスワティニ、モザン ビーク、ガーナ、アフガニスタン、イラク、レバノン

外務省 日本NGO連携無償資金協力/国連難民高等弁務官事務所(UNHCR) 国連人道問題調整事務所(UNOCHA)/世界銀行(WB) 国連世界食糧計画(WFP)

皆さまからの募金額

■クリスマス募金・ 149,936,951円 ■水と食糧のための募金 31,290,836円 -1,282,159円 ■ラブ・ローフ募金 …

■コミュニティ・サポーター 83,710,000円

■緊急食糧援助募金 … 10,000円

アフガニスタンからの報告

アフガニスタン、バギス州における児童および妊産婦に対する栄養支援事業 アフガニスタン、バギス州およびゴール州における緊急食糧支援事業 公共施設の建設・補修工事を通じた食糧支援



支援の背景

負のスパイラルで 食料危機がさらに深刻に

アフガニスタンでは長年にわたる紛争 や干ばつに加え、2021年8月以降の 急激な政情の不安定化によって、雇用 の減少や食料価格の高騰が加速し、 深刻な食料危機に陥っています。乳幼 児をはじめ多くの人々が必要な食糧を 得られず、栄養不良に直面していま す。貧しい世帯の中には子どもの退 学・労働や家畜の売却などを余儀なく されるケースもあり、連鎖的に問題を 引き起こす原因にもなっています。



数値で見る成果

緊急の食糧支援を受けた人 201,417_人

配布した緊急食糧支援 4,985トン

労働の対価として 現金給付を受けた世帯 2,834世帯 (19.580人)



緊急の食糧支援と コミュニティの回復を見据えた支援

2022年度の主な成果

労働で得た現金から必要な食料を購入

国連世界食糧計画(WFP)との協働により、アフガニスタン西部のバギス州やゴール州の 農村地域で、特にぜい弱性の高い世帯を対象に緊急の食糧配布支援を実施しました。また 貧困世帯の多い農村地区や避難民キャンプでの子どもの深刻な栄養不良に対応するため、 バギス州やヘラート州の特に栄養不良な状態にある生後6カ月~5歳の乳幼児と妊産婦へ 栄養治療食を配布しました。このような緊急支援と同時に、家畜や雇用機会を失い貧困に あるコミュニティの人々が、収入を得て必要な食料品を購入できるよう、河川の堤防や取水 施設などコミュニティ内の公共施設の建設や補修工事に参加した世帯に対し、労働の対価と して現金給付を行いました。

支援地域からの声

家族の命をつないでくれた食糧支援に感謝しています

長年の紛争や干ばつに直面し、私を含め村人は家畜を失いました。干ばつで 作物を育てることもできません。私は仕事もなく、家族の食べ物も家を暖める こともできません。しかし、小麦や豆など食糧支援を受け取ることができま した。この支援は私たち家族の命をつないでくれました。とても感謝しています。



世界規模の食料危機・飢餓へのワールド・ビジョンの対応

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、紛争(Conflict)、気候変動(Climate Change)という3つの「C」により、 かねてより深刻な状況にあった食料危機は一層深刻になり、2022年、飢餓人口・栄養不良に苦しむ子どもたちの 数は世界全体で増加しました。ワールド・ビジョンは、国連世界食糧計画(WFP)等と連携し、グローバルなパート ナーシップの力を総動員して今この瞬間、食料や栄養治療を必要とする子どもたちへ、食料・現金/バウチャーなど 状況とニーズに応じた形で緊急支援を届けるとともに、中長期的な食料・栄養安全保障を高めるため、持続可能 な農業畜産技術の支援、栄養価の高い食物の栽培や調理法の支援、生計向上支援等を行っています。



食料配布の準備の様子

ソマリアからの報告

ソマリア・ソマリランドにおける栄養支援事業

支援の背景

子どもたちの成長を奪う 深刻な食料危機

アフリカ東部のソマリアでは、2020年 から続く降雨不足が原因で農作物、 家畜、牧草地への悪影響が拡大して います。食料価格の高騰や雇用機会 の減少により、人々は危機的な食糧 不足に直面する中、ぜい弱層への影響 は特に大きく、多くの子どもたちが 免疫力の低下、そしてビタミンや牛乳 の摂取量低下による栄養状態の深刻 な悪化に陥っています。



数値で見る成果

配布した食糧 861トン

栄養補助支援を受けた5歳未満の子ども 65,313_人

栄養不良予防のための食糧支援を受けた 妊娠・授乳中の母親

45,804_人





飢餓の不安から抜け出し お母さんが安心して子育てできる環境を

2022年度の主な成果

栄養不良の改善・予防に向けた支援を実施

国連世界食糧計画(WFP)と協力し、アウダル地域やマローディ・ジェーハ地域において、栄養 不良の5歳未満の子ども、そして妊娠・授乳中の母親のための食糧支援を行いました。また、 すでに健康状態が悪化した人々への支援のみならず、栄養不良を未然に防ぐための食糧支援 を通じて、妊娠中の母親が安全な出産に備えられるよう配慮しました。事業の実施にあたっては、 対象地域の保健省スタッフや同国の結核センターのスタッフ等とも協働のうえ、コミュニティに 住むぜい弱層の人々が円滑に支援を受けられるよう調整を行いながら、169,000人以上の 人々の栄養状態の改善に取り組みました。

支援地域からの声

栄養不良から回復しました

ソマリアの子どもたちは深刻な貧血やビタミン不足に苦しんでいます。幼い アイシャちゃんはそのひとり。食欲がなく体調が悪化するアイシャちゃんは、 心配した母親に連れられてワールド・ビジョンの栄養支援を受けました。 数カ月の支援の末、母親のホードーさんは「アイシャの食欲は劇的に回復し、 元気になりました」と感謝しています。



日本国内で、貧困や災害の影響等で困難に直面する子どもたちに寄り添い、 支援を届けています。

アドボカシー 子どもを取り巻く問題の根本解決を目指し、不公正な社会を変えていくため、 政府や市民社会に訴えます。



国内支援

新型コロナウイルス対策子ども支援事業

子どもたちのために食・遊び・学び・居場所を支援

「新型コロナウイルス対策子ども支援事業」を2022年度も実施 しました。地域の子ども支援団体計7団体(7事業)への助成 (前年度からの継続分)に加え、DV・虐待被害者等の宿泊型支援 等を行う団体計1団体(1事業)への助成を開始し、約760人の 子どもたちの食・遊び・学び・居場所等を支えることができました。 また、新たな試みとして、夏休みの子どもの居場所「なかのマイ スペース」を、中野区の特定非営利活動法人ここからプロジェ クトとの協働により実施しました。2022年8月に区内3カ所で 計14回開催、のべ47人の子どもが参加しました。



助成を行った「エプロン若菜」での弁当配布時の体温測定の様子

子どもの権利が実現する社会を目指す活動

「月刊 世界へのトビラ」を2022年8月から発行

子どもの権利の啓発素材として「月刊 世界へのトビラ」を2022年8月より発行し、中野区内の教育 機関等でご活用いただいています。ワールド・ビジョン・ジャパンの公式HPでもご紹介しています。

中野区立中野東図書館に掲示中の「月刊 世界へのトビラ」



スタッフの声



髙橋布美子スタッフ

2020年度から開始した「新型コロナウイルス対策子ども支援事業」。2022年度からは、 DV、虐待被害者等の宿泊型支援等を行う団体にも助成を開始しました。その現場から 学んだことは、困難な環境にある子どもや親子がその環境を抜け出し、回復し、次のステップ に進もうとする時に、安全で安心できる場所と信頼できる人の存在がいかに重要かと いうことです。「受け入れられている」「尊重されている」という体験が、短期間であっても、 その後の心の支えになり得るのだと知りました。そのような一つひとつの関わりを大切に 活動している団体と今後も学び合いつつ、連携して社会課題の解決に取り組みます。 2022年6月15日に、「こども基本法」と「こども家庭庁設置法」が成立しました。「子ども の権利条約」を日本が1994年に批准して以来待ち望まれていた、子どもの権利の包括 的な基本法です。ワールド・ビジョン・ジャパンが実行委員団体として参加している「広げ よう!子どもの権利条約キャンペーン」でも、このことを歓迎し、子どもの権利を基盤と する施策がいっそう進むよう、政策提言や啓発等を進めます。

ワールド・ビジョン・ジャパンの国内支援は、2023年度からは、「国内子ども支援事業」 に名称を変更し、これまでの経験を基盤としながら、日本の子どもたちの豊かな成長を 支え、日本社会における子どもの権利の実現に向けて取り組みを拡充する予定です。 皆さまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

アドボカシー

子どもに対する暴力撤廃

子どもに対する暴力撤廃をめざす講演のほか、論文を寄稿

2021年にワールド・ビジョン・ジャパンも市民社会の立場から作成に 携わった子どもに対する暴力撲滅国別行動計画や、その中でも言及され ているINSPIRE(子どもに対する暴力撤廃のための7つの戦略)の国内 での普及・啓発に取り組みました。その一環として、2021年12月に横浜 で開催された日本子ども虐待防止学会学術集会第27回かながわ大会 にて、INSPIREに関する講演を行ったほか、2022年3月に出版された 研究誌『子どもの権利研究』(子どもの権利条約総合研究所発行)第33号 に「『子どもに対する暴力撲滅行動計画』の意義と課題」と題する論文を 寄稿しました(文京学院大学甲斐田万智子教授との共著)。



日本子ども虐待防止学会で講演する柴田スタッフ

緊急時および長期化する危機下の教育

認知向上に向けた活動を展開

緊急下、危機下の教育のための国際基金「教育を後回しにはできない(ECW: Education Cannot Wait)基金」の助成を 受け、日本の政府や市民社会における緊急時および長期化する危機下の教育(EiEPC: Education in Emergencies and

Protracted Crises) に関する認知向上を目指し、様々な活動を展開しま した。EiEPCの現状と重要性、それに対して日本としてできることについて、 ECW事務局長を招き、ユース世代が各分野の専門家と議論を行う国際 オンラインシンポジウムを開催し、政府機関、国際機関、アカデミア、民間 企業、NGO等から78名が参加しました。また緊急下の教育協力に携わる 専門家や実務者と連携し、全5号にわたるEiEPC Eニュースを発行し、 緊急下の教育勉強会を開催しました。



国連教育変革サミットに参加

教育の重要性とSDG4教育目標達成の危機感を表した大規模国際会議

2022年9月、第77回国連総会に合わせてニューヨークで開催された 教育変革サミット(TES: Transforming Education Summit) に参加 しました。2022年初頭からの世界各地での集中的・包摂的な準備プロ セスを経て開催されたTESは、65人の国家元首をはじめとし、教育 大臣、国連諸機関のトップ、地域・国家機関、民間セクター、市民社会、 教員、アカデミア、専門家、若者など、2,000人以上が参加する教育分野 では初めてのハイレベルかつ大規模な国際会議でした。「現在世界が 直面する地球規模課題解決のために最も必要なことは教育」との発言が 多くなされ、様々な国から参加した若者が、新しいツールを駆使しながら、 議論、提言、発信などを力強く進め、若者の存在感を示しました。



国連本部内会議場における会議の様子

企業との連携

1,876社から、総額406,969,448円のご支援をお寄せいただきました。

企業の皆さまから、チャイルド・スポンサーシップ、特別プロジェクト、商品・サービスの売り上げからの寄付、社員募金と企業のマッチング 募金、ボランティアへの協力等、様々な支援・協力をいただきました。ウクライナ危機緊急支援のためにも多くのご支援をお寄せいただきました。

2022年度支援実例紹介(一部)

持別プロジェクトによる支援



塩野義製薬株式会社

ご法人とSHIONOGIグループ社員からのご 寄付をもとにケニアの母子保健改善に向けた 取り組み「Mother to Mother SHIONOGI Project」を支援いただいています。プロ ジェクト開始から8年となる2022年度は、 キリフィ県での第2期事業を実施しました。



株式会社JYPエンターテインメント・ジャパン

JYPエンターテインメントが展開する 社会貢献プログラムEDM(Every Dream Matters!)の一環として、アジア4カ国 での「最も弱い立場にある子どもたちの ための医療費支援プロジェクト」を支援 いただきました。



北商物流株式会社

「安心・安全に使える道路は、人々の生活 に欠かせない大切なインフラである」と いう思いから、フィリピンでの道路整備 支援事業を支援いただきました。

チャイルド・スポンサーシップ等を通して

夢 ヤマザキ

山崎製パン株式会社

チャイルド・スポンサーシップを通して、 ルワンダとバングラデシュのチャイルドを 支援くださっています。また2022年度は、 ヤマザキ『ラブ・ローフ募金』により、タンザ ニアでの農産物加工工場建設支援事業 を実施しました。

tutu, anna;

株式会社チュチュアンナ

チャイルド・スポンサーシップを通して、 25人のチャイルドを支援いただいてい ます。また2022年度は、日本国内での 子ども支援事業を実施しました。

TAÍSEÍ

株式会社タイセイ

長年にわたり、アジアでのチャイルド・スポ ンサーシップと特別プロジェクトを通して 支援いただいています。2022年度には、 ウクライナ危機緊急支援募金にもご協力 をいただきました。



TAMANOHADA

玉の肌石鹸株式会社

20年以上の長きにわたって国内外の子ども たちを支援いただき、関係会社とあわせて 100人のチャイルド・スポンサーとして、子ど もたちの成長を見守ってくださっています。

Crowd Bank

クラウドバンク・グループ

クラウドファンディング事業等から得た 収益をもとに、アジア5カ国100人のチャ イルド・スポンサーとして、子どもたちの 成長を支えていただいています。

アピセラピーを追究する。

株式会社山田養蜂場

世界8カ国100人のチャイルド・スポン サーとして支援いただいています。社員の 方々もチャイルドからの手紙を楽しみに、 交流を続けてくださっています。

商品・サービスの売り上げからの寄付



ビッグローブ株式会社

いつものスマホ生活で寄付もできるドネーション型モバイルサービス「donedone」(ドネドネ)を通して、 難民支援募金に寄付いただいています。未来ドラフト2021もご協賛いただきました。

支援・協力をいただいた企業(一部)





ヤフー株式会社



三菱自動車工業株式会社

松田産業株式会社

B. Bloom Build

ブルームビルド株式会社

Panasonic

パナソニック株式会社

SUNBROS CO.,LTD.

【●』ハニカム・テクノリサーチ株式会社

ハニカム・テクノリサーチ株式会社

株式会社サンブロス

東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステム株式会社

MS&AD Unison Smile Club

MS&ADゆにぞんスマイルクラブ





ミヨシ石鹸株式会社



日清製粉株式会社



株式会社不二家



オリエンタル酵母工業株式会社



月島食品工業株式会社

🌽 アース製薬株式会社

アース製薬株式会社

RENTRACKS

株式会社レントラックス



ファルマ・ソリューションズ株式会社



株式会社ウチヤマホールディングス

BLUMARE

G+SPREAD

株式会社ブルマーレ

ジースプレッド株式会社

三菱自動車STEP募金 宮園輸入車販売株式会社 株式会社シンシア 株式会社 FDJ 株式会社アプリシエイト 株式会社トーン・アップ 株式会社 プチファーマシスト 株式会社メディアボックス 株式会社ヨコハマ(つり具のブンブン) 株式会社秋山住研 キャリアインキュベーション株式会社 株式会社シーグランド 株式会社中央軒煎餅 西川株式会社

株式会社マスパック 浜松産業株式会社 株式会社ニッシンイクス 株式会社うおはん 株式会社双雲事務所 若尾製菓株式会社 山下湘南夢クリニック

各種団体との連携(一部)

1,240団体から、総額86,407,738円の支援が寄せられました。

公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 気仙沼漁業協同組合 学校法人愛恵学園愛恵幼稚園 青山学院 宗教センター さくらアカデミー 学校法人搜真学院搜真小学校

梅光学院大学 梅光学院中学校•高等学校 学校法人ベタニヤ学園日進ベタニヤ幼稚園 ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会 シオン・キリスト教団 蒲田教会 東京フリー・メソジスト教団 小金井教会

東京ユニオンチャーチ 日本イエス・キリスト教団 荻窪栄光教会 日本福音キリスト教会連合 グレースコミュニティ 日本ホーリネス教団 坂戸キリスト教会 大和カルバリーチャペル

World Vision Japan Annual Report 2022 20

19 | World Vision Japan Annual Report 2022

広がる支援の輪

チャイルド・スポンサーシップによる地域開発プログラムに加えて、教育、保健・栄養、水衛生等、特定分野の課題解決を 後押しするための個別事業を、「特別プロジェクト」として実施しています。特別プロジェクトは、学校校舎や診療所等の 建設事業と研修・啓発事業等を組み合わせて行われます。支援者は企業・団体、個人等さまざまですが、近年では遺贈・ 相続財産のご寄付による支援も増えています。

個人による支援

イラクと南スーダンの小学校 校舎修復・建設を支援

インターネットの世界で「Doge(ドージ)」の名で親しまれ、 「世界一有名な柴犬」とも言われる、かぼすちゃん。飼い主 であるS様は、かぼすちゃんの写真を出品したチャリティ オークションの売上から、イラクと南スーダンでの小学校 校舎修復・建設を支援くださいました。紛争により厳しい 環境で暮らす子どもたちが、安全な学校で、安心して学べる ようになりました。





かぼすちゃんの写真は、校内に飾られています

遺贈・相続財産による支援

「人生の証」を子どもたちの より良い未来につなげます

「遺贈」は、遺言によって遺産の一部またはすべてを特定の 個人や団体に無償で譲与することです。また、故人のご遺志 を受け継いだ相続人が、相続財産から寄付することもできま す。2022年度は、14件の遺贈寄付をいただきました。お一 人おひとりの「人生の証」であるご寄付をしっかりと受け止 め、最も弱い立場にある子どもたちのために、大切に使わせ ていただきます。

遺贈寄付についての ご相談・お問い合わせは

03-5334-5355 (平日 10:00~17:00)

メール donation@worldvision.or.jp

詳しいパンフレット(無料)もご用意しています >>



マイルストーン・プロジェクトによる支援

シリアの小学校 5校の校舎修復・建設事業を支援

「マイルストーン・プロジェクト」は、一口あたり100万円の 寄付をいただき、共同でひとつの事業を実施するものです。 共同で支援いただくことで、より規模の大きい事業を実施 することができます。2022年度はシリア北西部で、紛争に よって破壊された学校5校の校舎修復・建設事業を実施 しました。



空爆によって破壊された校舎



修復後の教室内部

皆さまとともに

イベントやボランティア等、多くの方にワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の活動に参加いただいています。

グローバル教育

世界に目を向ける取り組みの参加者が倍増



対面式の授業に参加してくださった東京都立国際高等学校の皆さん

日本の子どもや若者が世界に目を向ける機会となるよう、未就学児から大学・大学院生 まで幅広い年齢層を対象に「グローバル教育」を実施しています。対面やオンラインでの 「講師派遣」を56回実施し10,212名が参加、ワールド・ビジョン・ジャパン事務所への 「事務所訪問」やオンラインインタビューは18回行われ、58名が参加、オンラインで4回

開催した小学生向けサマースクールは602名に 参加いただきました。また、動画コンテンツや 株式会社ポケモン様のご寄付を受けて開発した デジタル教材は1,848名が利用してください ました。これらの取り組みを通して、グローバル 教育への参加者は昨年の4.848名を大きく 上回る12,118名となりました。



オンラインで閏催したサマースクール に参加し、クイズに答える子どもたち

各種イベント

オンラインイベントに、のべ約1.700人が参加

新型コロナウイルス感染症の影響が残る2022年度は、ワールド・ビジョンの活動をお伝えするイベントのほと んどをオンライン開催で実施しました。12月のクリスマスキャンペーン期間中には、コロナ禍と気候変動の影響 で拡大する飢餓について、南スーダンやアフガニスタンの映像とともにご報告しました。その他、インスタライブ やバーチャルツアー、ウクライナをはじめ人道支援の最前線で活動するスタッフを交えた難民支援についての ご報告等、実施する事業の様子をお伝えするオンラインイベントに、日本各地や海外からも参加いただきました。



オンラインイベントの様子

ボランティア

手紙翻訳や動画編集など、さまざまなご協力をいただきました

2022年度は、90人の皆さまに活動を支えていただきました。在宅では 手紙翻訳、動画編集、発信物の編集など、事務所では各種データ入力、 手紙や資料の発送業務など、チャイルド・スポンサーシップをはじめ 団体で実施するプログラムに関連する活動にご協力いただきました。 チャイルド・スポンサーからの手紙は、約19.800通を東京事務所より 各国現地事務所へ、チャイルドからの手紙は、約13,500通をチャイルド・ スポンサーにお送りし、手紙を通しての交流を支えていただきました。



チャイルド・スポンサーからの手紙を受け取り、 発送準備中のチャイルドへの手紙



書籍出版

「いのちのバトンをつなぎたい 世界の子どもの3人に1人は栄養不良」を出版

世界保健デーの4月7日、世界の栄養不良の問題を通して今できることを考える国際協力の 入門書を出版しました。栄養不良の問題を軸に、ワールド・ビジョンが世界で出会った子ども たちの生活を紹介しつつ、飢餓、紛争、水衛生、生計向上などの分野に触れ、複雑な問題が絡み 合い栄養不良が起因していることを解説しています。さらに、WVJの活動事例や、国や団体の 枠を超えた世界全体での取り組みに触れながら、問題解決の糸口を探ります。読者層を中学生 以上に想定し、写真やイラストを多用して読みやすく仕上げています。



いのちのバトンをつなぎたい 世界の子どもの3人に1人は栄養不良 発行:合同出版株式会社 定価:1,760円(本体1,600円+税) ISBN:9784772614924

21 | World Vision Japan Annual Report 2022

ウクライナ危機緊急支援

ワールド・ビジョンは危機発生直後からウクライナの子どもたちに寄り添っています

2022年2月にウクライナ危機が発生し、2023年1月時点でおよそ600万人が国内で、1,700万人以上が国外で避難生活を送ってい ます。ワールド・ビジョンは危機発生直後から、隣国ルーマニアの国境地帯およびウクライナ国内での緊急人道支援を開始。その後、活動 の分野と国・地域を広げ、ウクライナの故郷を追われた子どもたちの命を守り、日常を取り戻し、未来を築くための支援を展開しました。 2022年度末(2022年9月末)までに子ども131.974人を含む360.718人に支援を届けました。

活動の成果(一例)



食料を届けた 人の数

229,428人



現金・バウチャー給付を 受けた人の数

32,707人



現金・バウチャーの総額

4,174,793 usp





通じて支援した子どもの数

7,179人 11,817人



一時滞在先(シェルター)を 提供した人の数

25,597人



子どもの数

衛生用品キットを 受け取った人の数

57.796人







国内での活動

日本の皆さまとともに、ウクライナ危機の中にある子どもたちに想いを寄せて

ウクライナ人道支援特別コンサート

2022年6月8日(水)夜、ウクライナ出身のオペラ歌手オクサーナ・ ステパニュックさんを招き、ウクライナ人道支援特別コンサートを 開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大後初の対面 イベントで、会場のウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会には300人

を超える方々が集まり、YouTube同時 配信は350人以上に視聴いただきま した。故郷への愛と平和への祈りのこ もったオクサーナさんの歌声、ウクライナ を逃れて日本YMCA同盟の支援を受け て来日、日本で避難生活を送るマリア さんのお話に耳を傾け、ウクライナの子 どもたちと人々に想いを馳せるひと時 を皆さまとご一緒しました。



ウェビナー ウクライナ・シリア 紛争下の "今"を支える支援とは

2022年6月16日(木)夜、6月20日の世界難民の日を前に、紛争下の今を 支える支援活動の最前線の様子を伝えるウェビナーを開催しました。 ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長の木内真理子と支援事業部緊急人道 支援課長の伊藤真理の対談形式で行われ、支援担当者の率直な想いを

皆さまにお伝えしました。ワールド・ビジョン で人道支援における現金・バウチャー給付 のビデオメッセージも届けられました。紛争 の影響下にある地域で、学びや遊びの中で 心身の成長を育む「子ども時代」が失われて います。ワールド・ビジョンが人々の尊厳を 守り、明日に希望を見出せるようにどのよう するキャサリンスタッフ(右)と な活動を進めているかをご紹介しました。 WVJ伊藤スタッフ(左)



2022年度 会計報告

正味財産増減の状況 2021年10月1日より2022年9月30日まで(単位:千円)

T. 一般正味財産増減

E味財産期首 E味財産期末 正味財産増減 指定正味財産 E味財産期首	経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高 残高(D)	965,932 569,534 396,398	8,411,15 106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73 1,668,09 87,62 343,74 431,36
収益 定資産売却益 一般正味財産 E味財産期	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高(D) 核 増減額 残高	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73 1,668,09 87,62 343,74
収益 定資産売却益 一般正味財産 医味財産期首 医味財産増減	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 経常サル収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高 残高(D)	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73 1,668,09
収益 定資産売却益 一般正味財産 正味財産期首 正味財産期末 正味財産増減	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 益 経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高 残高(D)	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73 1,668,09
収益 日定資産売却益 一般正味財産 医味財産期首 E味財産期末	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 益 経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高 残高(D)	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73
収益 記定資産売却益 一般正味財産 E味財産期首	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 益 経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73
収益 記定資産売却益 一般正味財産 E味財産期首	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 益 経常外収益合計(C) 増減額(A+C)-(B) 残高	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4 14,36 1,653,73
収益 固定資産売却益 一 般正味財産	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B) 益 経常外収益合計(C)	569,534	106,18 8,517,33 4 4 4
収益	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B)	569,534	106,18 8,517,33
収益	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B)	569,534	106,18 8,517,33
収益	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5) 経常費用合計(B)	569,534	106,18 8,517,33
, ,	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5)	569,534	106,18
理費 (5)	各種啓発教育費(4) 啓発教育事業管理費(5)	569,534	106,18
理費(5)	各種啓発教育費(4)	569,534	
	各種啓発教育費(4)	569,534	8,411,15
	啓発教台曹	900 932	
		- ,	
		, - ,	
未買			
	11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	7 400 100	
m			-,,
			8,531,65
	长. 特定答案证用关. 辨顺关		1.50
和全費	国建協関が200支収安配並守	0,020,042	4,213,00
(2)		- ,	4,213,65
		, -	
i Institut 스 선수		, ,	4,315,91
取奇付金	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		404504
	(2)	取寄付金 受取スポンサーシップ募金 受取その他募金・寄付金 (1) 取補助金等 政府系機関からの受取補助金等 民間団体からの受取助成金等 国連機関からの受取委託金等 取会費 ホ財産運用益・特定資産運用益・雑収益 経常収益合計 (A) 田 共変	取寄付金 受取スポンサーシップ募金 3,283,628 受取その他募金・寄付金(1) 1,032,283 取補助金等 政府系機関からの受取補助金等 325,781 民間団体からの受取助成金等 264,329 国連機関からの受取委託金等 3,623,542 取会費 本財産運用益・特定資産運用益・雑収益 経常収益合計(A) 日 業費 地域開発援助事業費 7,439,160 地域開発援助事業費(※) 7,251,378 地域開発援助事業管理費(5) 187,782

資産・負債の状況 2022年9月30日現在(単位:千円)

I. 資産の部

 流動資産 ¬ 		546.127
	現金預金	513,275
	前払金	27,753
	立替金	4,007
	仮払金	207
	その他流動資産	885
2 固定資産		1,878,411
	基本財産	50,000
	特定資産(6)	1,741,262
	補助金·助成金·委託金引当	資産 426,363
	地域開発援助事業引当資	産 1,142,000
	募金引当資産	5,000
	その他特定資産	167,899
	その他固定資産(7)	87,149
資産合計		2.424.538

7 17 H H I		320,000
負債合計		325.080
2 固定負債	退職給付引当金	— 167,899 167,899
	未払金 預り金 賞与引当金 未払法人税等	131,374 2,686 23,051 70
Ⅱ.負債の部 1 流動負債・	T	— 157.181

Ⅲ 正味財産の部

負債及び正味財産合計	2,424,538
正味財産合計	2,099,458
(うち特定資産(6)への充当額)	(1,142,000)
(うち基本財産への充当額)	(50,000)
2 一般正味財産	1,668,095
(うち特定資産(6)への充当額)	(431,363)
1 指定正味財産	431,363
皿: 正が(4) 注 √ 7 MP	

※地域開発援助・委託援助事業費の内訳(アドボカシー費492千円除く)については、P27-28の 支援事業一覧をご覧ください。

※※正味財産の内訳は、資産・負債の状況のⅢ.正味財産の部を参照ください。

(1)~(7)については、次ページからの「会計報告の注記」を参照ください。

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは2022年度財務諸表等(2021年10月1日より 2022年9月30日まで)について、以下の監査を受けています。

2022年11月14日 森岡伸介公認会計士事務所による監査 2022年12月1日 監事による監査

【数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン(P3-4)について】

●「資金の集め方」は、上記会計報告の「経常収益合計(A)」を100%とし、 各項目には以下の科目を含みます。

チャイルド・スポンサーシップ募金:「受取スポンサーシップ募金」 その他募金・寄付金 :「受取その他募金・寄付金」

:「受取補助金等」

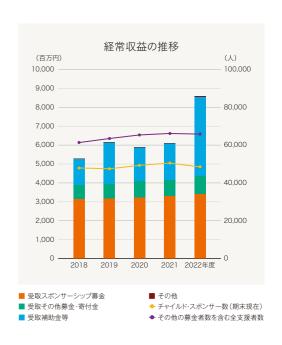
:「受取会費」「基本財産運用益·特定資産運用益·雑収益」 その他

●「資金の使い方」は、上記会計報告の「経常費用合計(B)」を100%とし、

各項目には以下の科目を含みます。

現地事業活動のため :「地域開発援助事業費」「人材派遣費」

広報活動のため 「啓発教育費 | :「管理費」 団体の運営・管理のため



●重要な会計方針の要約

- 1) 財務諸表の作成基準:特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは「公益法人会計基準」
- (2008年4月11日 2020年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会)に基づいて会計処理および財務諸表の作成を行っています。
- 2) 固定資産の減価償却について: 定額法による減価償却を実施し、償却額控除後の価額を表示しています。
- 3) 引当金の計上基準:

賞与引当金: 職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。

退職給付引当金: 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。

4) 消費税等の会計処理:消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

(1)受取その他募金・寄付金の内訳(単位:千円)

児童保護募金	4,562
誕生日記念募金	25,426
危機にある子どもたちのための募金	44,812
ラブ・ローフ募金	12,636
うちラブ・ローフ募金	1,282
うちヤマザキ『ラブ・ローフ』募金	11,354
緊急援助募金	113,967
うちウクライナ危機緊急支援募金	100,609
うち新型コロナウイルス緊急支援募金	1,740
うちシリア緊急支援募金	1,099
うちミャンマー難民危機緊急支援募金	889
うちエチオピア北部緊急人道支援募金	507
うち緊急食糧援助募金	10
クリスマス募金	149,937
水と食糧のための募金	
夏期募金	
難民支援募金	
国内子ども支援	
コミュニティ・サポーター	
プロジェクト・サポーター	44,192
プロジェクト・サポーター(難民支援)	29,041
ラオスの子どもたちのための募金	
特別プロジェクト募金	
その他の募金·寄付金	57,407
受取その他募金・寄付金合計	1,032,283

(3)人材派遣費

人材派遣費とは、地域開発援助事業等の事前調査・視察・調整 のための短期調整員・駐在員・海外契約スタッフ・外部専門家 派遣に関わる費用です。

(4)各種啓発教育費の内訳(単位:千円)

広告費	481,091
各種広告費	366,226
パンフレット等印刷費・通信運搬費他	114,865
広報費	30,626
年次報告書(2021年度版)制作·発送費等	10,447
団体ホームページ制作費等	8,525
その他の広報活動費	11,654
ニュースレター制作・発送費等	20,212
チャイルド・スポンサーおよび寄付者への連絡物制作・発送費	等 34,245
その他啓発費等	3,360
グローバル教育活動·学校訪問等の費用	2,344
ラブ・ローフ募金箱の製作・運搬費等	1,002
活動報告会	14
各種啓発教育費合計	569,534

(2)受取補助金等の内訳(単位:千円)

政府系機関からの受取補助金等・

N務省 日本NGO連携無償資金協力	325,78 325,78
バングラデシュ/北ダッカ市ミルブールの貧困層居住地区におけるコミュニティのごみ・衛生管理能力強化事	業1 -6
バングラデシュ/北ダッカ市ミルブールの貧困層居住地区におけるコミュニティのごみ・衛生管理能力強化事	業2 40,84
バングラデシュ/北ダッカ市ミルブールの貧困層居住地区におけるコミュニティのごみ・衛生管理能力強化事	業3 17,95
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途41,147千円保有しています。)	
ラオス/タパントン郡における初等教育の学習環境改善事業2	21,18
ラオス/タパントン郡における初等教育の学習環境改善事業3	26,51
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途24,758千円保有しています。)	
タンザニア/ムキンガ郡における水の安全保障プロジェクト2	-8,21
タンザニア/ムキンガ郡における水の安全保障プロジェクト3	41,20
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途55.532千円保有しています。)	
エチオピア/アムハラ州フェレゲ・ヒウォット病院の安全・衛生環境改善事業1	2,75
エチオピア/アムハラ州フェレゲ・ヒウォット病院の安全・衛生環境改善事業2	32,76
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途37,577千円保有しています。)	
ベトナム/ディエンビエン省における山岳民族の女児と女性に対する人身取引予防事業2	31,44
ベトナム/ディエンビエン省における山岳民族の女児と女性に対する人身取引予防事業3	30,67
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途47.532千円保有しています。)	
カンボジア/プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業2	23,84
カンボジア/プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業3	44,06
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途32,827千円保有しています。)	
ヨルダン/イルビッド県における脆弱層に向けた初等·中等教育の就学·学習支援体制強化事業	業1 20,79
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途71,728千円保有しています。)	
民間団体からの受取助成金等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ま定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム	257,06
ヨルダン/シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業6	1,34
ヨルダン/アズラック難民キャンプおよび非公式居住地における新型コロナウイルス感染症予防のための水衛生支援	事業 44,61
南スーダン/マラカル市内における新型コロナウイルス感染症予防支援	16,05
南スーダン/タンブラ郡における紛争後の新型コロナウイルス感染リスクの高い人々への水衛生と保健施設感染対策強化支援	
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途31,890千円保有しています。)	
バングラデシュ/ミャンマー避難民キャンプ及びホストコミュニティにおけるジェンダーに基づく暴力(GBV)か	
保護とコミュニティのGBV防止・対応能力強化事業	
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途6.046千円保有しています。)	
バングラデシュ/ミャンマー避難民キャンプ大規模火災被災者への生活復旧支援事業	2.05
ウガンダ/ビディビディ難民居住地における子どもの保護事業	88
イラク/モスル西部の緊急期における子どもの保護事業	24
イラク/モスル西部の安全な教育環境の整備と子どもの保護事業	36,41
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途3,296千円保有しています。)	
南スーダン/セントラル・アッパーナイル・緊急期の教育支援事業	-1
シリアにおける国内避難民への水衛生支援事業	_
シリアにおける新型コロナウイルス感染予防対策と水衛生事業	51,16
シリアにおける基礎的水衛生サービスを通じた新型コロナウイルス感染予防対策事業	32,34
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途5,466千円保有しています。)	
エチオピア/ティグライ州における緊急水衛生・保健栄養支援事業	2,98
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途4,150千円保有しています。)	
エチオピア/アファール州における水衛生支援事業	1,97
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途64,414千円保有しています。)	
パナソニック株式会社	4,93
ケニア/エンクトト地区電化による生活改善支援事業	4,93
黄河電機株式会社	2,32
バングラデシュ/シレット県の地域の特性に応じた安全な水へのアクセス改善事業	2,32
国際機関からの受取委託金等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3,623,54
国連児童基金(UNICEF)	153,32
国連世界食糧計画(WFP)	2,350,63
うち、受取委託物品	660,30
世界銀行(World Bank)	188,72
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)	362,08
うち、受取委託物品	71,48
国連人道問題調整事務所(UNOCHA)	397,17
国連食糧農業機関(UNFAO)	6,13
大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	46,56
教育を後回しにはできない(Education Cannot Wait)基金(ECW)	118,90
X月で後凹しには (でない(EUUCaliOH CaliHOL Wall)基立(ECW)	

(5)事業管理費等の内訳、および集計(単位:千円)

事務局の運営に関わる事業管理費等は、以下の3つの科目に分けて計上しています。 地域開発援助事業管理費(以下、地開管理費):地域開発援助事業に直接関わる国内管理費 啓発教育事業管理費(以下、啓発管理費) : 啓発教育事業に直接関わる国内管理費 管理費(以下、管理費) : その他一般の国内管理費

各管理費の内訳、および内訳ごとの集計は以下の通りです。

	事業管理費等合計	地開管理費	啓発管理費	管理費
人件費等	417,976	133,873	213,251	70,852
会議費	1,478	257	0	1,221
旅費交通費	5,461	1,204	3,386	871
賃借料	49,312	15,402	25,489	8,421
支払手数料	130,763	1,130	119,152	10,481
その他の管理費	85,372	35,916	35,120	14,336
수計	690.362	187.782	396.398	106.182

人件費等 : 職員等の給与手当、法定福利費等。なお2022年9月30日現在、職員73名、嘱託・アルバイト8名が在職 会議費 : ワールド・ビジョン・バートナーシップ内等の国際会議出席のための渡航費用、その他国内会議費用 旅費交通費: 職員の通勤費、事務ボランティアの方の事務所までの交通費等

: 事務所家賃

325.781

支払手数料:入金にかかる口座引落およびクレジット決済等の手数料、銀行・郵便局等金融機関の振込手数料等

(6)特定資産の内訳(単位:千円)

補助金·助成金·委託金引当資産(指定正味財産)の内訳

補助金·助成金·委託金引当資産合計	426,363
ジャバン・ブラットフォーム助成金 エチオピア アファール事業分	64,414
ジャパン・プラットフォーム助成金 エチオピア ティグライ事業分	4,150
ジャパン・プラットフォーム助成金 シリア4事業分	5,466
ジャパン・プラットフォーム助成金 イラク5事業分	3,296
ジャパン・プラットフォーム助成金 バングラデシュ5事業分	6,046
ジャパン・プラットフォーム助成金 南スーダン タンブラ COVID-19事業分	31,890
NGO連携無償助成金 ヨルダン1事業分	71,728
NGO連携無償助成金 カンボジア プレアビヒア3事業分	32,827
NGO連携無償助成金 ベトナム 人身取引予防3事業分	47,532
NGO連携無償助成金 エチオピア バハルダール2事業分	37,577
NGO連携無償助成金 タンザニア3事業分	55,532
NGO連携無償助成金 ラオス3事業分	24,758
NGO連携無償助成金 バングラデシュ ダッカ3事業分	41,147

当年度までに受領した上記事業にかかる補助金等のうち、2023年度以降に支出を予定している金額です。

地域開発援助事業引当資産の内訳

地域開発援助事業引当資産合計	1,142,000
緊急援助事業引当資産(ウ)	10,000
一般募金による地域開発援助事業引当資産(イ)	123,000
スポンサーシップ地域開発援助事業引当資産(ア)	1,009,000

(ア)チャイルド・スポンサーシップによる事業(以下SP事業とする)に使途を特定した資産であり、2023年度以降のSP事業、為替相場変動によるSP事業への影響回避のための準備金、SP事業における緊急事態(緊急医療・自然災害・火災等) 対応への準備金として、支出を予定しています。

(イ)SP事業以外の地域開発援助事業(緊急・復興支援事業含む)に使途を特定した資産であり、2023年度以降に支出を予 定しています。 (ウ)大規模な自然災害や紛争発生時の、初動の緊急支援活動のための準備金です。

募金引当資産(指定正味財産)の内訳

一般募金によるバングラデシュ事業	5,000
募金引当資産合計	5,000

その他特定資産の内訳

その他特定資産合計	167,899
退職給付引当資産	167,899

(7) その他の固定資産の内訳(単位:千円)

その他の固定資産 合計	87 149
敷金	33,495
電話加入権	373
ソフトウェア	31,688
什器備品	9,624
建物附属設備	11,969

(8)保証債務等

当団体は保証債務等の責は一切負っておりません。

(9) 為替レートについて

ワールド・ビジョン・バートナーシップでは、現地の地域開発援助事業 等は米ドルにて予算管理を行っており、為替予約等によって、為替 相場の変動による事業への影響をできるだけ抑えるよう努めています。 2022年度(2021年10月1日~2022年9月30日)の地域開発援助 事業費の総平均レートは、1米ドル=116.66円でした。

監査と情報公開

ワールド・ビジョン・ジャパンでは、会計および業務全体 に関して2名の監事による内部監査とともに、外部の 独立した公認会計士に依頼して会計監査を受けてい ます。その会計報告の概要は、年次報告書やホーム ページで公開しています。また、特定非営利活動法人 および認定NPO法人としての事業報告書等を、所轄 庁である東京都に提出し、情報公開を行っています。 ワールド・ビジョン全体としては、内部に監査機関を設 置し、各国のすべての事務所が最低でも3~5年に一 度、事務所全体の業務監査と会計監査を受けること になっています。もし監査の過程で疑義等が発生した 場合は、その都度適切な対処を行います。

2022年度 支援事業一覧

	国名	プロジェクト名	チャイルド・スポンサー シップによる支援額	その他募金に よる支援額	助成金・委託金に よる支援額		合計	受益者数(人)	支援チャイルド数(人)
海外支	援	エーラナルは四数プログニル		0.000			E4.016.E40	27.677	3,000
		トモ・プオ地域開発プログラム ボレイ・チュルサール地域開発プログラム	54,016,549 54,016,550				54,016,549 54,016,550	27,677 22,234	2,000 2,000
東アジア	カンボジア ラオス モンゴル	プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業2 プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業3		9,282,195 10,182,721	12,394,005 43,131,525	A A	21,676,200 53,314,246	125,079 125,079	
		旧タバントン地域開発プログラム		9,253,359			9,253,359	32,823	
		タパントン郡における初等教育の学習環境改善事業2 タパントン郡における初等教育の学習環境改善事業3		5,434,421 7,973,924	14,157,725 25,546,378	A	19,592,146 33,520,302	40,580 40,580	
東アジア		ハイラアスト地域開発プログラム	24,307,448	7,575,55			24,307,448	57,306	860
		バヤン・ウルギー地域開発プログラム 最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(モンゴル)	38,891,916	2,783,257			38,891,916 2,783,257	90,878	1,500
		最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(モンゴル)第2期 タバウン地域開発プログラム	30,249,268	2,776,343			2,776,343 30,249,268	80 23,389	1,100
		カンディタン地域開発プログラム	21,606,620				21,606,620	25,000	1,800
東ア		カヤー州におけるキャッシュ・フォー・アセットを通じた地域開発支援事業 ラカイン州北部における食糧配布事業		-78,432 453,739	2,170,173 310,848	C	2,091,741 764,587	1,323 7,616	
ジア	ミャンマー	ラカイン州北部における食糧配布事業(2022年)		540,166	2,321,672	С	32,855,553	3,622	
		ミャンマーにおける母子栄養支援事業		1,552,976	29,993,715 15,271,370	物 D	16,824,346	17,588	
		カレン州における母子に対する緊急支援事業 チャンエン地域開発プログラム	23,335,150	1,080,331			1,080,331 23,335,150	650 24,452	900
		ムオンチャ地域開発プログラム	29,276,971				29,276,971	49,891	1,100
		トアンザオ地域開発プログラム ダバック地域開発プログラム	30,249,269 49,695,226				30,249,269 49,695,226	10,436 13,286	1,100 2,000
		ムオンチャ郡の女性の生計向上による子どもの栄養改善・教育支援事業	9,813,727				9,813,727	1,320	
	ベトナム	ヌー・スアン郡における小規模事業開発支援 子どもの栄養改善のため男性の役割を高める栄養・生計向上統合事業	4,577,903 2,700,828				4,577,903 2,700,828	480 2,055	
		ディエンビエン省における山岳民族の女児と女性に対する人身取引予防事業2 ディエンビエン省における山岳民族の女児と女性に対する人身取引予防事業3		5,643,160 9,040,636	22,907,139 29,289,887	A	28,550,299 38,330,523	134,666 134,666	
		最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(ベトナム)		2,783,257	23,203,001	^	2,783,257	20	
		最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(ベトナム)第2期 ドアンケット・コミューン水衛生施設建設支援事業		2,776,343 3,023,198			2,776,343 3,023,198	92 671	
		フルバリア地域開発プログラム	75,623,170	5,525,136			75,623,170	213,575	2,800
		ビロル地域開発プログラム ビルゴンジ地域開発プログラム	70,221,515 64,819,860				70,221,515 64,819,860	66,008 75,128	2,600 2,400
		イスラムプール地域開発プログラム	49,695,226				49,695,226	84,007	2,000
		バサンチャール島におけるロヒンギャ難民のための水衛生支援事業 北ダッカ市ミルブールの貧困層居住地区におけるコミュニティのごみ・衛生管理能力強化事業2	5,291,461	8,057,907	27,281,002	Α	5,291,461 35,338,909	5,000 125,000	
		北ダッカ市ミルプールの貧困層居住地区におけるコミュニティのごみ・衛生管理能力強化事業3		6,212,578	16,207,810	Α	22,420,388	125,000	
		コックス・パザール県ラム郡における水・衛生環境改善事業1:事前調査費 ミャンマー選輯具キャンプ及びホストコミュニティにおけるジェンダーに基づく暴力(GBV)からの保護とコミュニティのGBV物止・対応能力強化事業		373,146 7,921,913	32,590,208	В	373,146 40,512,121	9,218	
	バングラデシュ	ミャンマー難民に対する食糧支援事業(2021年度)		482,260	76,563,571 11,827	C 物	77,057,658	13,567	
		ミャンマー難民に対する自立型家庭菜園・コミュニティにおける農業支援		1,836,563	14,727,860	С	16,564,423	1,453	
		難民受け入れコミュニティにおける脆弱層を対象とした現金給付を通じた生計支援事業 ミャンマー避難民の子ども、青年とコミュニティ全体のための包括的な子どもの保護と教育プログラム		2,912,896	80,076,870 7,769,839	E D	80,076,870 10,682,735	16,887 24,673	
		南ダッカ市西部における子どもの保護と支援事業		8,431,983	1,700,000		8,431,983	600	
		イスラムプール水衛生改善支援事業 最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(バングラデシュ)		3,023,198 2,783,257			3,023,198 2,783,257	3,000 40	
南		最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(バングラアシュ)第2期		2,776,343			2,776,343	40	
アジ	インド	シレット県の地域の特性に応じた安全な水へのアクセス改善事業 サイダベット地域開発プログラム	38,891,917	13,674,722			13,674,722 38,891,917	117,644 84,000	1,600
<i>y</i>		キラユ地域開発プログラム プドゥコッタイ地域開発プログラム	29,168,937 35,002,724				29,168,937 35,002,724	55,091 35,344	1,100 1,300
		カンドゥクール地域開発プログラム	14,584,469				14,584,469	98,122	500
	125	デオガル地域開発プログラム シュラバスティ地域開発プログラム ※事業開始に向けた調査および事業計画策定	49,695,226 8,642,648				49,695,226 8,642,648	76,116 0	1,800
	ノンパウミフ	サガール地域開発プログラム ※事業開始に向けた調査および事業計画策定	8,642,648	0.770.000			8,642,648	0	0
		ナンブタライ小学校 新校舎建設支援事業 東マンガライ県の小学校の校舎整備支援事業		3,778,998 4,394,462			3,778,998 4,394,462	516 228	
	インドネシア	中南部ティモール県 コミュニティの水衛生行動変容と能力強化支援事業 チャイルド・スポンサーシップ事業	88,325,486	7,197,813			7,197,813 88,325,486	1,400	
	+.0 "	西ドティ地域開発プログラム	00,323,400				00,323,400	40,466	1,500
	ネパール	バジャン地域開発プログラム プワ村ナポダヤ小学校 整備支援事業		3,788,937			3,788,937	15,100 301	2,000
		プラバット小中学校における水衛生設備支援事業		2,273,016			2,273,016	491	
		レイテ地域開発プログラム サマール地域開発プログラム	32,409,930 42,781,107				32,409,930 42,781,107	264,672 46,080	1,200 1,600
		レイテ州タクロバン市浄水システムおよび小規模保健施設支援事業 北サンボアンガ州リトレット・バランガイ道路整備支援事業		3,023,198 4,308,036			3,023,198	2,068	
	フィリピン	最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(フィリピン)		2,783,257			4,308,036 2,783,257	1,453 22	
		最も弱い立場にある子どもたちへの医療費支援プロジェクト(フィリピン)第2期 サマール州サンタリタ市ダンピガン中等学校校舎建設支援事業		2,776,343 3,748,749			2,776,343 3,748,749	30 885	
		ミンダナオ島都市部脆弱地域における子どもの健やかな成長のためのコミュニティ強化事業		1,416,854			1,416,854	188	
	スリランカ	リディマリヤッダ地域開発プログラム ゴンダール・ズリア地域開発プログラム	43,213,457 60,282,471				43,213,457 60,282,471	19,222 71,307	1,750 2,300
		デラ地域開発プログラム	59,418,205	7 700 100	-2,622,101	A	59,418,205 5,166,005	149,158	2,200
	エチオピア	アムハラ州フェレゲ・ヒウォット病院の安全・衛生環境改善事業1 アムハラ州フェレゲ・ヒウォット病院の安全・衛生環境改善事業2		7,788,106 5,469,925	30,707,967	A	36,177,892	1,205 1,205	
		アファール州における水衛生支援事業 アムハラ州ボウェロ県および南ウェロ県における紛争の影響を受けた施弱なコミュニティおよび国内避難民を対象とした緊急水衛生事業		302,561 3,240,993	1,836,469 22,997,087	B G	2,139,030 26,238,080	19,300 10,364	
		イララマタク地域開発プログラム	54,016,551	3,240,333	150,188,33	U	54,016,551	16,126	2,000
		キアムボゴコ地域開発プログラム Mother to Motherプロジェクトによるケニア共和国における母子保健支援事業	54,016,550	430,976			54,016,550 430,976	18,831	2,000
	ケニア	パンパ Mother to Mother プロジェクト(3年次) リマラベラ診療所への電力供給による医療環境改善支援事業		50,592,333			50,592,333	28,196	
		エンクトト地区電化による生活改善支援事業		3,372,793 339,440		K	3,372,793 339,440	3,929 150	
		キラムルジ地域開発プログラム グウィザ地域開発プログラム	58,337,875 59,418,205				58,337,875 59,418,205	27,985 27,249	2,200 2,200
東ア	ルワンダ	ニャガタレ地域開発プログラム ※事業開始に向けた調査および事業計画策定	10,803,310				10,803,310	0	0
東アフリカ		東部県水衛生プロジェクト コンゴ民及びブルンジ難民とホストコミュニティに対する水衛生、教育生計向上支援事業	37,811,585	8,102,483	155,400,690	E	37,811,585 163,503,173	24,832 92,084	
ń		住宅改修支援事業		2,267,399			2,267,399	328	
		ソマリア・ソマリランドにおけるセーフティーネット事業 ソマリア・ソマリランドにおけるセーフティーネット事業(2021)		540,166	470,756 44,517,466	C	470,756 45,057,632	15,478 6,982	
		ソマリア・ソマリランドにおける干ばつ対応事業		162,050 204,399	45,139,850	С	45,301,900	8,951	
		ソマリア・ソマリランドにおける栄養支援事業(2021)		204,399	2,054,684 8,508,286	C 物	10,767,369	13,826	
		ソマリア・プントランドにおける干ばつ対応事業		467,027	126,606 18,070,230	C	126,606	5,781	
	ソマリア	ソマリア・プントランドにおける干ばつ対応事業(2021)			19,915,097	物	38,452,354	8,034	
		ソマリア・プントランドにおける栄養支援事業(2021)		162,050	1,184,185 3,488,218	C 物	4,834,453	1,514	
		ソマリア・プントランドにおける栄養支援事業		2,016,546	1,593,797	С	12,403,829	3,898	
				162,050	8,793,486 9,312,209	物 C	13,590,230	666	
		ソマリア・プントランドにおける生計回復事業		479,019	4,115,971	物			
		ソマリア・サウスセントラルにおける栄養支援事業(2021)			2,778,398 5,573,082	C 物	8,830,499	2,122	
		ソマリア・サウスセントラルにおける生計回復事業		413,551	9,922,480	С	10,336,031	2,926	

注記**「物」と記載のある支援順は、物資支援を円貨換算したものです。**注記**2 助成・委託団体名は下配の通りです。**A:外務省 日本NGO連携無償資金協力 D:国連児童基金【UNICEF】 G:国連人道問題調整事務所【UNOCHA】 J:欧州委員会人道援助・市民保護総局【ECHO】 B:特定非営利活動法人ジャパン・ブラットフォーム【JPF】 E:国連養民高等弁務官事務所【UNHCR】 H:教育を後回しにはできない(Education Cannot Wait)基金【ECW】 K:パナソニック株式会社 「世界銀行【World Bank】

与外支持	国名	プロジェクト名	チャイルド・スポンサーシップによる支援額	その他募金に よる支援額		助成金・委託金は よる支援額		合計	受益者数(人)	支援チャイルト
号外文		ソマリア・サウスセントラルにおける干ばつ対応事業	П	268,786		49,578,302	С	49,847,088	3,266	
	ソマリア	ソマリア・サウスセントラルにおける干ばつ対応事業(2022)		2,300,997		32,030,331 9,248,356	СВ	34,331,328	15,082	
		マラカル市内における新型コロナウイルス感染症予防支援事業 タンプラ都における紛争後の新型コロナウイルス感染リスクの高い人々への水衛生と保健施設感染対策強化支援事業		4,611,772 5,242,975		29,506,638	В	13,860,128 34,749,613	32,715 50,431	
		アッパーナイル州における食糧・栄養・レジリエンス強化支援事業		163,670		2,140,469 8,199,190	C 物	10,503,329	3,054	
	南スーダン	アッパーナイル州における栄養不良改善事業		215,850		5,462,910	C	14904946	4,587	
		アッパーナイルのレンク・メルート・マバンにおける保健サービス支援事業				9,216,086 2,335,148	物 D	14,894,846 2,335,148	347,044	
		南スーダン緊急栄養支援事業		10,803,310		6,984,951	D	17,788,261	41,873	
		南スーダンにおける和解・安定化・回復事業 アッパーナイルのマラカルにおける教育および保護統合支援事業				3,558,464 8,253,316		3,558,464 8,253,316	4,094 9,144	
		ワラップ州における保健・栄養、保護、生計向上統合支援事業		2,160,662		42,750,145	G	44,910,807	74,724	
		南スーダンにおける地域紛争および洪水被災者統合支援事業 南スーダン・教育分野におけるレジリエンス強化事業		24,361,464 4,746,434		166,141,573 44,142,386		190,503,037 48,888,820	73,647 10,326	
		南スーダン・教育分野におけるレジリエンス強化事業(上記継続事業)		11,179,203		66,029,613		77,208,816	8,770	
		南スーダン・教育支援事業		29,512,158 455,143		1,143,826	С	29,512,158	473	
		南コルドファン州食糧統合支援事業		433,143		13,717,608	物	15,316,577	7,346	
		南コルドファン州食糧支援事業				609,775 24,738,777	C 物	25,348,552	10,650	
東				1,720,751		2,075,306		20.004.000	00.100	
プ	スーダン	南ダルフール学校給食事業		404.000		32,288,803 21,553,375	物 C	36,084,860	33,180	
果アフリカ		南ダルフール州食糧統合支援事業		464,002		8,100,634		30,118,011	9,712	
		南ダルフール州食糧統合支援事業(2022年)		297,739		19,565,169	C	25,379,689	5,282	
		南ダルフール統合支援事業		1,080,331		5,516,781 99,415,741	物 G	100,496,072	69,273	
		南ダルフール州教育・保護人道支援		4,545,493		43,880,031	G	48,425,524	5,186	
		ムゲラ地域開発プログラム ゴロワ地域開発プログラム	43,213,240 47,264,482					43,213,240 47,264,482	44,624 43,841	
		ムキンガ地域開発プログラム	52,666,136					52,666,136	65,904	
	タンザニア	ルテンデ地域開発プログラム ムキンガ郡における水の安全保障プロジェクト2	40,404,379	5.925.585		-12,776,374	A	40,404,379 -6,850,789	16,444 8,924	
		ムキンガ郡における水の安全保障プロジェクト3		12,719,024		39,292,099	A	52,011,123	8,924	
		ムキンガ郡における農産物の加工工場建設支援事業		9,722,979 7,009,728				9,722,979	100 1,659	
		ムキンガ郡の小学校における水衛生改善事業 キルヤンガ地域開発プログラム	54,016,551	7,009,728				7,009,728 54,016,551	41,488	
		ロバランギット・カレンガ地域開発プログラム	49,695,226	2047705				49,695,226	11,855	
		ウガンダ北部における子どもの保護プロジェクト		3,647,738 998,118		2,630,309		3,647,738	4,417	
	ウガンダ	ビディビディおよびロブレ難民居住地における食糧支援事業(2021)				7,309,048	物	10,937,475	8,393	
		ビディビディおよびロブレ難民居住地における食糧支援事業(2022)		3,058,201		13,823,345 91,395,084	C 物	108,276,630	10,614	
		北部ウガンダ難民居住地における子どもの保護事業		9,708,719		22,394,407	Е	103,591,494	242,819	
		トヨタ地域開発プログラム	44,941,769			71,488,368	物	44,941,769	24,697	
		カンボブ地域開発プログラム	43,213,240					43,213,240	32,958	
		サンプワ地域開発プログラム ※事業開始に向けた調査および事業計画策定 ルアラバ地域開発プログラム ※事業開始に向けた調査および事業計画策定	1,383,688 1,369,860					1,383,688 1,369,860	0	
		ルチュルにおける脆弱国向けパイロット事業	1,309,600	2,408,598				2,408,598	1,380	
	4-3.0.4	北キブ州における学校給食事業		1,080,331		2,827,746 25,104,429		29,012,506	5,659	
南ア	コンゴ民主共和国			918,281		1,919,535	700 C	F1 0F0 000		
用アフリカ		北キブ州における食料配布事業				48,219,046	物	51,056,862	5,484	
ń		中央カサイ州における栄養啓発事業		90,316		1,091,011 1,510,997	C	1,181,327	4,396	
		中央カサイ州における食料配布事業				40,147,885	物	43,495,445	5,602	
		中央カサイ州における急性栄養不良対応プロジェクト シェウラ地域開発プログラム	57,689,675	22,428,644		49,799,315	D	72,227,959 57,689,675	11,805 13,135	
	エスワティニ (スワジランド)	ゲゲ地域開発プログラム	47,480,548	81,024,825				47,480,548 102,631,445	18,164	
	モザンビーク	ゲゲ地域、マーランガシャ地域、ングワヴマ地域での水衛生改善事業 サンペジア州における新型コロナウイルス感染症の社会経済的影響を受けた脆弱世帯を対象とした現金給付支援事業	21,606,620	7,194,032		1,140,599,804	С	1,147,793,836	12,573 34,541	
アリカ	チャド	ワイイ県統合食料支援事業				3,519,088 50,184,480	C	53,703,568	17,557	
7713	ガーナ	農村部における乳幼児と妊産婦の食習慣改善事業		12,035,211		188,719,690	物	200,754,901	25,740	
	エクアドル	コルタ地域開発プログラム	48,074,729					48,074,729	34,420	
中南		プンガラ地域開発プログラム ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム	34,570,592 27,224,340					34,570,592 27,224,340	13,761 58,233	
南米	エルサルバドル	サンアグスティン地域開発プログラム	43,213,240					43,213,240	55,926	
	ホンジュラス	サン・ベドロ・スーラにおける脆弱国向けパイロット事業 地域ヘルスワーカーの能力強化を通じた母子保健プログラム支援事業(アフガニスタン)※移動診療		2,408,598 9,684,519				2,408,598 9,684,519	1,013 7,000	
		地域ヘルスワーカーの能力強化を通じた母子保健プログラム支援事業(アフガニスタン)		11,721,591				11,721,591	75,000	
		アフガニスタン、バギス州における児童および妊産婦に対する栄養支援事業		1,526,292		711,001 47,596,633	C 物	49,833,926	11,901	
	アフガニスタン	アフガニスタン、パギス州およびゴール州における緊急食糧支援事業		2,769,104		12,701,528	С	183,162,711	114,237	
		ン共施設の建設・補修工事を通じた食糧支援		3,443,123		167,692,079 46,056,109		49,499,232	5,065	
		ゴール州の危機の影響を受けた子どもたちに対する教育事業		4,666,706		27,360,790	D	32,027,496	21,021	
		アフガニスタン緊急水衛生支援事業 ヘラート市近郊における脆弱国向けパイロット事業		2,408,598		12,480,793	D	12,480,793	2,270 2,415	
		モスル西部の安全な教育環境の整備と子どもの保護事業		10,089,189		30,421,698	В	2,408,598 40,510,887	4,500	
	4ラク ヨルダン シリア	脆弱な国内避難民に対する緊急の食料および現金給付事業		704,700		64,367,877	С	65,269,849	9,047	
		脆弱なシリア難民に対する現金給付事業		339,224		197,272 20,841,146	物 C	21,180,370	2,729	
東欧・中東		難民・国内避難民・ホストコミュニティのユース・エンパワメント事業		426,947		10,440,398		10,867,345	1,462	
1		シンジャー(シンジャール)地区 学校修復支援事業 気候変動に関連する危機に対する帰還民およびホストコミュニティのレジリエンス強化事業		29,512,158 1,774,444				29,512,158 1,774,444	698 32	
*		イルビッド県における脆弱層に向けた初等・中等教育の就学・学習支援体制強化事業		2,778,060		19,230,190		22,008,250	9,132	
		シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業6 アズラック難民キャンプおよび非公式居住地における新型コロナウイルス感染症予防のための水衛生支援事業		18,301,948 5,074,515		-4,666,274 32,222,868	В	13,635,674 37,297,383	7,320 36,728	
		ヨルダンのシリア難民キャンプにおける学校給食事業6				279,559	C/物	279,559	2,367	
		シリアにおける新型コロナウイルス感染予防対策と水衛生事業 基礎的水衛生サービスを通じた新型コロナウイルス感染予防対策事業		4,187,188 7,075,513		35,084,478 31,105,399		39,271,666 38,180,912	19,693 7,083	
		シリアの紛争の影響を受ける脆弱層への保健医療・保護サービス事業				46,565,817	J	46,565,817	115,458	
		シリアにおける紛争の影響下にある人々への保護事業		4,510,922 494,467		26,849,544	D	31,360,466	56,807	
		子どもたちへの手編みセーター等配布事業		3,592,298	物			4,086,765	6,125	
		シリアにおける学校整備支援事業 ベッカー県におけるシリア難民および脆弱なレバノン世帯に対する食料支援		31,743,582 918,281		1,474,961	С	31,743,582 2,393,242	2,182 9,431	
	レバノン	ベッカー県におけるシリア難民への現金給付支援		10,284,535		26,787,720		37,072,255	97,151	
	ウクライナ									
	ルーマニア モルドバ	ウクライナ危機対応プログラム		101,551,114				101,551,114	360,718	
	ジョージア	HOUSE								
	バ・スポンサーシップ(無費用(「娘婦ヘルスワ	特別募金 ヲニカニの能力強化を通じた母子保健プログラム支援事業」の終了時評価調査)	3,072,350	3,403,532				3,072,350 3,403,532		
	助基金 □复用('地球/\/レ^'⁄	・ ハーマログリ 垣 19 年曜 19 10 19 3 9 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1		29,246,505				29,246,505		
ローノ	てル・センター 運営管		224,050,494	56,012,678				280,063,172		
	終了事業等にかかる精 算調整額	(李碩·補填額	-2,729,673 1,620	-11,924,045		-2,434,763		-17,088,481		
			1,620 ¥ 2,306,275,064	¥ 893,655,809		¥ 4,047,358,176		1,620 ¥7;247;2889;949	5,898,180人	7
	要 争来與百計									
	養事業費合計 愛	国内災害・子ども支援事業(新型コロナウイルス対策会) 国内災害・子ども支援事業(新型コロナウイルス対策含)		3,596,307				33599633077	2,584	

ワールド・ビジョンについて

ワールド・ビジョン(WV)は、約100カ国で活動する世界最大規模の国際NGOです

ワールド・ビジョンの始まり

WVの活動は、アメリカ生まれのキリスト教宣教師ボブ・ピアスによって始められました。第二次世界大戦後、混乱をきわめた中国に渡ったボブ・ピアスは、「すべての人々に'何もかも'はできなくとも、誰かに'何か'はきっとできる」と考えるようになりました。中国で出会った一人の少女の支援を始めた彼は、より多くの支援を届けるため、1950年9月、アメリカのオレゴン州で「ワールド・ビジョン」を設立。朝鮮戦争によって両親を亡くした子どもたち、夫を亡くした女性たち、ハンセン病や結核患者に救いの手をさしのべることから始まり、現在は世界の子どもたちのために、「開発援助」「緊急人道支援」「アドボカシー」の3つを柱に、約100カ国で活動しています。



組織と運営

WVでは、各国が独自に総会・理事会を持ち、その国のWVの運営に関する責任を負っています。通常は、総会・理事会のもとに事務局が置かれ、実際の運営を行いますが、最終的な責任はその国の総会・理事会が持っています。

WV全体に関わる方針や事業計画、予算等については、各地域から選出された理事で構成される国際理事会で決定されます。このほか国際理事会では、新たに活動を始める国や活動を終了する国の承認も行います。国際理事会のもと、WVパートナーシップ事務所が、各国・各地域間の調整業務や技術的サポートを行っています。



ワールド・ビジョン 全体の活動データ(2021年度)

組織関連

活動国数

スタッフ数

新型コロナウイルス感染症に対する 支援を受け取った人

約100カ国

約34,000人

7,200万人以上

活動関連



チャイルド・スポンサーを 紹介されている子ども チャイルド・スポンサーシップによる 地域開発プログラム(AP)の総数

APによる支援が届いている子ども

320万人以上

1,268

約1,600万人



聚急人道支援を届けた人 3,010万人以上



ぜい弱な子どもたちのために 実施された運動 200万件以上

ワールド・ビジョン・ジャパンについて

ワールド・ビジョン・ジャパンの始まり

WVは1960年代、日本でも両親を亡くした子どもたちが生活する施設等を通じて支援活動を行いました。その後、日本の経済成長と内外の海外支援に対する気運の高まりとともに、1987年10月に「ワールド・ビジョン・ジャパン」が設立され、独自の理事会を持つ組織として活動を開始しました。

1999年には「特定非営利活動法人」の認証を得て、法人格を持つ 民間の援助機関となりました。また2002年5月には、国税庁より 「認定NPO法人」に認定され、これ以降、当団体への寄付金は税制 上の優遇措置を受けられるようになりました。また、その後のNPO法 改正を受け、2014年8月からは東京都より改めて認定されています。



組織図 事務局長 東2部 支援事業部 大手・総務課 サービス部 大事業第2課 大事・総務課 大事・総務課

役員・親善大使(全員無給です)

理事長 小西 孝蔵(元農林中央金庫監事)

副理事長 飯島 延浩(山崎製パン株式会社代表取締役社長)

※ 日山 信彦

(前特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長)

理事 峯野 龍弘(ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会牧師)

里事 湊 晶子(学校法人広島女学院顧問)

理事 三木 晴雄(玉の肌石鹸株式会社代表取締役会長)

理事 安西 愈(弁護士)

理事 安藤 理恵子(玉川聖学院中等部·高等部学院長)

理事 木内 真理子

(特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長)

理事 富岡 徹郎(国際基督教大学常務理事)

理事 チャールズ・バデノック

(ワールド・ビジョン・インターナショナル パートナーシップ・リーダー)

監事 村上 宣道(一般財団法人太平洋放送協会名誉会長)

監事 中島 秀一(日本イエス・キリスト教団荻窪栄光教会牧師)

親善大使 ジュディ・オング(歌手・女優・木版画家)

親善大使 酒井 美紀(女優)

2022年10月時点



SDGsへの取り組み

WVは、子どもたちの健やかな成長を目指す活動を通じて、持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)の達成に向けた取り組みを進めています。



World Vision Japan Annual Report 2022 30